

府政治顧問タロース等ト時々會合セラ爲シ居レル狀況ナリ
自稱國民政府顧問ト、タロースハ前記ブラスイフスキート全様去ル六
日大連丸ニテ上海ヨリ大連ニ來リ船中旅券検査ノ際取調フルニ「自分
ハ佛蘭西人ナルモ目下支那ヘ歸化手續中ナルヲ以テ國民政府發給ノ無
國籍保護國民護證ヲ携帯スルモノニテ今回政府ノ命ニ依リ哈爾濱勞農
總領事館搜索事件調査ノ爲メ哈爾濱ニ赴クモノナリ」ト稱シ居タルニ
上陸大連大和ホテル投宿後語ル處ニ依レハ「自分ハ英國人二名ト共ニ
國民政府主席蔣介石ノ政治顧問ニテ來連ツ目下ハセミヨノフト會見ス
ル爲ニテ蔣介石ハ現在又那統一ヲ行ヒ得ル唯一ノ人物ニシテ蔣ハ全支
那ニ在留スル五十萬ノ白系諸人ヲ救済スルタメ或種ノ目論見ヲ有シ居
ルモノナルカ彼等ノ指揮者ヲ選定スルニ當リ日本側ヨリ好感ヲ受ケ居
ル人物ヲ物色セルトコロセミヨノフト以テ適任者トシテ舉ケラルルニ
至リタル等ヨリシテセミヨノフトハ同民政府ト良好ナル關係ニアリ且ツ
豫テ援助ヲ懇請シ居タルカ此度其ノ諒解ナリ政府ハ自分ヲシテセミヨ
ノフト大連ニ於テ會見セシムヘク派遣セルモノナリ云々」ト語り居タ
ルモノニテ全大和ホテル滞在中セミヨノフト屢々會見シ重要ナル打合



619219

003

セヲ爲シタルモノノ如ク又此兩者ノ間ニハ日本人二名及前記ブラスイ
フスキート等出入シ居タルカ去ル十日旅順ニ來リ關東廳外事課長ヲ訪問
後旅順戰跡ヲ見物ノ上大連ニ引返シ全日午後九時三十分大連發列車ニ
テセミヨノフト關係者等ノ見送リヲ受ケ奉天ニ向ヒ出發セリ

奉天居住某有力者ノ内命ヲ受ケ大連ニ來リセミヨノフト數次會見打合
セヲ爲シタリト稱スル邦人某カ奉天ニ歸着後ニ於テセミヨノフト今後
ノ豫定行動其ノ他ニ付語レル所又ノ如シ

「セ」ハ愈々問題タリシ香港上海銀行資金六百萬圓ヲ入手スル事ト
ナリ目下大連ニ在リテ該銀行ニ何等カ勸告シツツアリ自分ハ某有力者
ヨリノ内命ヲ傳ヘラレタル處「セ」ハ非常ニ喜ビ某有力者トノ會見ヲ
約セリ而シテ先病氣保養ノ名目ニテ十一日湯蘭子溫泉ニ向フヘク然ル
後都哈ニ依リテハ來奉スルヤモ知レス自分ハ十日迄「セ」ヨリ詳細ノ
通信ニ接スルコトニナリ居レハ右通信アリ次第湯蘭子ニ出張スル予定
ナリ之カ爲メ表面一露人ノ入湯ト稱シ湯蘭子溫泉株式會社宛問合セタ
ルカ之ニ對スル返事ナリト稱シ溫泉會社ヨリノ手紙ヲ見セ「セ」ノ湯



619219

004

崗子行ハ極秘ナル爲メ溫泉會社トシテモ「セ」トハ知ラサル筈ナリ
自分ハ某有力者ト「セ」トノ間ニ在リテ之カ通譯ノ任ニ當ルヘク今回
ノ大連ニ於ケル「セ」トノ會見ノ模様ヨリ察スルニ「セ」カ入手セル
六百萬圓ハ何レ舉兵ノ準備金ニ使用セシムルモノト想像サル間日本ニ
於ケル金塊時價一〇六萬圓モ目下未解決ノ儘ナルモ何レ解決スルモノ
ト思ハル某有力者トノ會見ハ湯崗子トナルヤ又奉天ナルヤ決定セサル
モ多分湯崗子ニ決定ス可ク之等ハ自分カ湯崗子ニ於テ「セ」ト會見ノ
結果決スヘシ某有力者カ「セ」トノ應援問題ニ就キ常ニ語ル處ナルカ援
助ノ小出ハ不結果ヲ來スノミニテ援助スルナラハ大出セサル可ラス小
出ハ絶對ニ不可ナリト稱シ居タル處アリ察スルニ今回ノ會見ハ或ハ徹
底的後援ノ打合せニ非ラサルカト愚料セラル尙湯崗子ニハ子供二人ト
保姆一人ヲ同伴スルノミニテ溫泉ニ於ケル部屋及其ノ他ノ準備ハ一切
整ヒ居レリ云々

四セミヨノフ來連ニ關シ元張宗昌傭兵白露人ノ指揮者ニシテ目下大連大
和ホテルニ滞在在中ノメルクロフノ語ル所ニ依レハ「セ」ミヨノフ來往ニ



619219

005

對シ何等ノ愚想モナク彼ノ如キハ唯聲ヲ大ニシテ自己宣傳ヲスルノミ
ニシテ何等實際的ニ手腕無ク且ツ舊露人軍人間ニモ反感ヲ有スルモノ
相當多數アルヲ以テ何事モ爲シ得ス「ト語リ居リ甚シク惡感情ヲ以テ
白眼視シ居レリ又同シク大和ホテル滞在中ノネチマエフハメルクロフ
ニ對シテハ甚タシキ反感ヲ有スト同時ニセミヨノフニモ好感ヲ有セサ
ルカ如キモ個人的ニハ交際シ居ルモノノ如キカ今問セミヨノフノ來連
ニ付セミヨノフハ宣傳ノミニシテ實行ノ伴ハサルモノナリト非難スル
反面相當彼ノ行動ニ興味ヲ有スル如ク今回ノ來往カ果シテ單ナル避暑
又ハ子供等ノ爲ノミト思ハレス必スヤ何事カヲ計畫シ來レルモノト
察シ前記クロフズ及ブラスイフスキノ來連ト結ビ付ケ更ニセミヨノ
フカ他ノ舊露國將軍ヨリモ比較的日本人ニ關係深キヲ以テ相當複雑ナル
外交關係等ヲ考察シテモ蔣介石トノ交渉カ比較的容易ニ成立スルニ非
ラスヤト考ヘラル云々ト語リ居レリ

五尙セミヨノフハ昨年張宗昌カ山東舉兵ノ際張宗昌ニ白承露人ヲ糾合ス
ル故十萬元ヲ要求シ約三萬元ヲ交付サレタリトノ噂モアリ就テハ哈爾



619219

006

F-0223

0442

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

資勞農總領事館搜索事件以來支那側ノ態度日ニ日ニ強硬トナリ電信
電話ノ回線、ドルコム以下労働機關ノ閉鎖、東鐵労働幹部ノ追放トナ
リ何時戦端ノ開始ヲ見ルヤヲ保シ難キ情勢ニアル現在ニ於テ支那側カ
前途クローズノ言ノ如ク本名ヲ利用セムトスルニハアラスヤト想像サ
レ一戦ニ今回ノ來連ニ就テハ注目サレ居ル狀況ナリ

「以上」



619219

007

F-0223

0443

617/A.005

(分 第F1.9.2.1-4-5)

内務大臣安達謙藏殿
外務大臣岡本武揚殿
陸軍大臣宇垣一成殿
拓務大臣松田源治殿
指定廳府縣長官殿
在支各内務事務官殿

○露支紛争開「セ」ヨノ「フ」一派ノ策動ノ件

標記ニ開シテハ本日發行都下各新聞紙ニ報道セラ
レタルカ同件ニ開シ「セ」ヨノ「フ」千係者ハ

「今回ノ露支衝突ハ支那側カニ三ヶ月前ヨリ計画シ
居タルモノニシテ之カ考若シ兩國間ニ干戈ヲ交フル
カ如キコトアラハ「セ」ヨノ「フ」一派ノ白軍殘党ヲ利用
シテ反ソヴエト軍ヲ組織セシメ之ニ武器其ノ他ヲ供
給シ露領ニ送りテ赤軍ニ對抗セシメ支那軍隊ハ
國境守備ニ當ル策ヲ樹テ密ニ「セ」ヨノ「フ」ニ交渉
アリタル由ニテ「セ」ヨノ「フ」自身ニ於テモ其ノ宿望タル
西北利獨立運動ノ為純好ノ機運到来セリトシテ之
カ折衝ノ為渡支シタルモノナリ
ト稱シ居レハ從來「セ」ヨノ「フ」將軍一派ハ屢々諸種

外務局 第一課
秘 第二一九三號

昭和四年七月十八日

警視總監 丸山 鶴吉

昭和四年七月十九日 接受



619219

009



619219

008

F-0223

0444

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

ノ計画ヲ發表シ策動スル所アリタルモ一トシテ成功シタルモノナラ
唯自己等ノ糊口若シハ立場展開ノ為遂行ノ見込如
何ニ不恰盲動スルノ觀サヘアリタルモノニ付今固モ又其
ノ確實性ナキモノト認メラルモ他面客月三十一日外秘
第一八八三號、既報ノ如ク同人今回、渡支ニ先テ蒙古王
族万起凱事官文淵、渡來シ當地ニ於テ「セ」ヨノ「」茲
浪人杉山茂丸等ト相互ニ往來シ何事密談、上三名相
携ヘテ大連ニ向ヒタル矣等ニ徴スレハ或ハ全然根據ナキ
モノトモ認メ難シ

右及中ノ通シ報候



619219

010

F-0223

0445

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

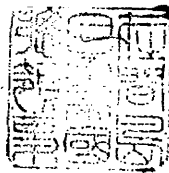
歐米局
機密第八二七號

昭和四年七月廿五日接受

昭和四年七月十九日

在間島

總領事岡田兼



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

在支白系露人ノ時局通信ニ關スル件

(彈春分館報告)

本件ニ關シ在哈爾濱道裡七十六號居住白系ゲ
リツクス將軍ノ配下イフシヨーフヨリ彈春縣城内居
住白系露人ユーブリンスキー宛左記通信アリ内容
白系露人ノ行動ヲ窺知シ得ルモノアリ御參考迄

記

「前略」

一中國官憲ノ蘇聯總領事館大搜查大檢舉ハ我白
党ノ勢力挽回ノ一大氣運ナリ世界人類ノ道德ヲ無視
シ固有ノ正義ニ逆行セムトシテ全世界ヲ塗炭ノ境ニ
陷ラシメムトスル彼ノ蘇聯ノ陰謀ハ我正義人道ニ並
行スル白党ノ仇敵ニシテ千古ニモ尚消エサルノ遺
恨ナリ彼カ一度我等ノ海外ニ驅逐シニコライ國家
ノ顛覆シ爾來白色ノ虐殺幾千幾萬ナリヤ横暴
無道ノ彼ノ專横ニ我白党舉ツテ奮起セサルヘカ
ラサルモノナリ曩ニ哈爾濱總領事館大搜查大檢
舉後蘇聯政府ハ各國境ニ兵力ヲ集中シ軍事教練
ヲ頻リニ行ヒ遽ニ目醒シキ活動ヲ開始シ示威的行動



619219

012



619219

011

F-0223

0446

ヲ爲シ居ル模様ナルカ彼ノ現在ノ勢力ヲ以テハ今日到底新興ノ中國ニ戰勝スルコト至難ナルヘシ我白党ハ出來得ル限リ中國ヲ使啖シ蘇聯トノ戰端ヲ起サシメ以テ蘇聯ノ擊滅ノ計ルハ上策ニアラスヤ

二、先日當地ニ於テ中露時局ニ對スル北滿白党露人緊急會議アリ蘇聯ハ中國カ戰火ヲ交ヘルトキハ白党ハ中國側ノ先鋒トナリ率先戰地ニ向ヒ中國ノ爲メ功績ヲ擧ケ以テ祖國ノ光復ヲ圖ラムコトニ一致可決シ先ツ支那側ニ諒解ヲ求ムル爲メ代表ヲ東北政治分會ニ派シ極力成功ノ運ヒニ至ラシムルコトニ議決シ目下代表選出中ナリ

三、尚一方南滿及山東河北方面ニ元張宗昌將軍ノ配下

ニ屬シ張宗昌將軍ノ没落後彼地ニ散在シ苦境ニ陥リ居ル同志ヲ嘯集シ北滿方面ニ集合スヘク代表ヲ既ニ派遣セリ

四、本計畫ニ對スル日本ノ態度ヲ察知スル必要アリ員ヲセシヨロフ將軍ノ下ニ派シ德惠申ナリ

五、貴下ハ貴地方面ニ散在セル同志間ニ於テ之カ諒解ト賛否トヲ内査ノ上至急返信アリタシ

本信寫送付先

北平公使、奉天、吉林、哈爾濱各總領事
長春、滿洲里、安東各領事、通化分館主任
朝鮮總督、咸北、咸南、平北各知事
朝鮮軍參謀長、第十九師團參謀長
羅南憲兵隊長、延吉派遣員、間島派遣員
管内各分館主任、各署長、分署長



619219

014



619219

013

F-0223

0447

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

176070

(本月十六日附關機高收第一九八三一號ノ二參照)

外 指
內 定
務 支
省 各
警 事
保 務
長 官
局 官
官 長
官

關機高壓第二〇五七五號 / 一

昭和四年七月十九日

歐米亞

樂
識

昭和四年七月廿四日接受

關東廳警務局長



016



015

參謀長ヲ訪問シ或種ノ事情ヲ陳述諒解ヲ求メ其ノ結果ニ依リ更ニ奉天
秦特務機關長ヲ訪問シ之等ノ結果ニ依リ數日中ニ上海ニ向フ管ナリ
四、而シテ各地ニ於ケル舊部下ヨリ此ノ機ニ乘シ事ヲ舉クヘク德通來リ舊
部下上海ニ一萬ハイラル、チチハル等ニ約三萬合計四萬ノ兵力アルモ
武器及軍資金無キ爲メ支那側ノ援助ヲ俟ツニアラサレハ舉兵困難ナル
モ茲四五月中ニ舉兵スルヤ否ヤ決定スル管ナリト

619219

017

五、内地ヨリ歸來シ大連滯在中ナリシ之參謀少將アンドクスキーハ營城子
ニセミヨノフヲ去ル十六日訪問シ同午後九時三十分發列車ニテ北行セル
カセミヨノフノ語ル處ニ依レハアンドクスキーハ目下哈爾濱ニテ甚タシ
ク逆境ニアリ從來再三ソ聯邦側ニモ何等カノ情報ヲ提供シ幾分ノ金銀ヲ
得居タルモノノ如ク本名ノ言動ニ對シテハ全ク信用シ能ハス今回ノ露支
關係ニ付テモ本名ハセミヨノフヲ煽動スルカ如キ言辭ヲ洩シ現ニ奉天ニ
居住スルオストロモフカ東支鐵道管理局長トナルヲ得ハ本名モ何等カ重
職ニ就クヲ得ヘク其ノ際所謂帝政派ノ援助モ爲スヘクオストロモフカ管
理局長ノ椅子ヲ得タル際ハ速ニ電報ニテ報告スルヲ以テ直チニ赴哈本名
等ト一致協力ソ聯邦ニ當ルヘキヲ以テ最近一週間ノ中ニ相當準備ヲ整ヘ
テ然ルヘシトノコトヲセミヨノフニ對シテ洩シタル由ナルカ本名ハ哈爾
濱ニテ何等ノ勢力ナクセミヨノフ自身モ彼ニ對シ特ニ信ヲ置カサルカ如
シ

以上

619219

018

F-0223

0449

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

分類 F/92545

秘

歐米局
機高收第二〇四六七號ノ二
昭和四年七月十九日

第一課

印

昭和四年七月廿日 接受

開東電務局長

在滿關關關指內內外拓
支鐵東東東定務務務
各情勤意軍府警書
事報海兵參縣保記次
務課官隊謀長局官官
官長長長官長長
殿殿殿殿殿殿殿殿殿

△

奉天在留白系露人ノ時局ニ對スル言動

支那官憲ノ東支鐵道強制回收ニ依ル露支兩國ノ戰雲低迷ハ果シテ奈邊
ニ迄及フヤ豫測シ得サル狀況ナルモ十年余何等カ機會ヲ捉ヘ打開策ヲ

講セサルヘカラストスル租國外ニ避難スル白系露國人ニ對シテハ異常
ノ衝動ヲ與ヘ彼等ハ欣喜雀躍スルト共ニ此ノ絶好ノ機會ニ善處スヘク
策動スルニハアラスヤト認メラルルニ付其ノ言動周密注意中ナルカ今
同ノ東鐵強制回收ニ關シ支那側ノ樞機ニ或程度迄參畫シタリト觀察セ
ラルル東北交通委員會顧問「オストロウモフ」其ノ他在奉天白系露人
ノ言動次ノ如シ

記

(一)東北交通委員會顧問「オストロウモフ」ノ語ル所ニ依レハ支那官憲
ノ東鐵回收計畫ハ昨今始マリタルモノニアラス昨年京奉鐵路局長ト
シテ常蔭槐ノ在任當時ヨリ南京政府ノ諒解ノ下ニ回收ノ畫策ヲ爲シ
第一市内ノ電話權ヲ回收シ次テ長距離電信權ヲモ回收スル豫定ナリ
シモ南京政府トノ間ニ具體的諒解成立セサリシ爲メ一時表面運動ヲ

S 619219 020

S 619219 019

F-0223

0450

休メ其ノ後同收スヘキ款項ヲ送クルヘク連日ノ如ク講究中ナリシカ
ニ哈爾濱ソウエート領事館ノ手入ニ依リ既ニ同收ノ準備十分出来タル
モノニシテ之カ同收ニ關シテハ前後約二ケ年ノ歲月ヲ費シタル次第ナ
リ 今回ノ斷行ハ充分ノ成算アリテ實施シタルモノナレハソウエート
側ヨリ如何ナル抗議ヲ爲スト雖決シテ讓歩又ハ平和的交渉ニ應スルコ
トナシト觀察セラル乍然白系露人ノ一部及支那人等ノ觀察スル如ク支
那側カ如何ナル行動ニ出ツルモソウエート側ハ絕對忍從スルカ否ヤハ
問題ニシテ結局支那側態度ノ軟化セサル限り露支國交ノ斷絶ハ免レサ
ルヘシ、 尙支那側カ東鐵ノ營業ヲ掌握セハ自分（オストロウモフ）
ハ副管理局長ニ任命セラレ居ルヲ以テ直ニ赴哈事務ノ引繼ヲ受クル豫
定ナルカ目下東北交通委員會ノ命ニ依リ當分奉天ニ滞在ノ儘副管理局
長ノ事務ヲ採ルヘシ而シテ現在並ニ將來ノ鐵道政策營業方針等ニ付テ

S

619219

021

ハ總テ管理局長代理范其光ト電話ヲ以テ打合セスルコトニナリ居レル
モ商業經濟方面ニ關シテハ張學良顧問英人「ドナルド」ノ指導ヲ受ク
ルモノナリト。

(二)駐奉舊俄同鄉會長フロンスキハ先月下旬本名ノ經營スル奉天實業補習
學校經營問題ニ關シ東省特別區教育廳長張國忱ト打合セノ爲メ赴哈中
ナリシ處本月十四日歸奉セリ哈市滞在中該地白系露人動靜ニ付キ左ノ
如ク語ル今回東鐵同收問題勃發以來白系露人幹部連ハ將來對策ニ就キ
度々會議シ自分モ出席セルカ大體ニ於テ今回ノ事件重大化シ兩國開戰
ニ到ラハ支那側ヨリ内々援助供與方ノ下相談モアル際故武器彈藥衣服
軍需品ノ供給ヲ受ケ國境ニ侵入赤軍ニ對抗シ事態推移ノ如何ニ依テハ
進シテ露領内ニ侵入スルコトニ略準備ヲ整ヘル模様ニシテ尙支那側ヨ
リ開戰ノ曉正式ニ武力共同動作ヲ提議スル際ハ支那領ニアル間ノミ支

S

619219

022

那側ノ指揮ニ從ヒ國境突破後ハ完全ナル獨立反革命軍團トシテ行動ス
ルコトニ支那側ノ承諾ヲ要求スル魂膽ナルモノ由云々
追テ本名「ブロンスキー」ハ露國支那兩國戰雲急ヲ告ケ居ル現狀ニ鑑
ミ本十六日午後自宅ニ在奉白系有力者數名ヲ招待シ哈市事件ノ内容哈
市ニ於ケル白系露人會議内容等詳細報告シ在奉白系露人ノ將來採ルヘ
キ態度ヲ協議スル豫定ナリ。

(三)目下大連滞在中ナルアタマンセミヨノフノ奉天ニ來ルハ子息病氣ノ爲
メ數日延期サレタル旨奉天關係邦人通報アリタルカ奉天居住キルリ派
代表ジヤドウオイン秘書アトラノフハ或種ノ内命ヲ受ケ本月十六日
午後十時四十五分發列車ニテ赴連セミヨノフヲ訪問スル趣ナリ。

(四)奉天浪速通三十七番地居住 ウラジミルスルツキーハ元セミヨノフノ
部下ナリシカセミヨノフ將軍ヨリ出連方招電ヲ受ケタリトテ本月十六

日午後十時四十分發列車ニテ大連ニ向ケ出發スヘク準備中同名ヲ語タル
處ニ依レハセミヨノフハ豫テ上海在僑某支那人並ニ佛蘭西人ノ斡旋ニヨ
リテ上海香港銀行ヘ預金シアル問題ノ金ハ張學良ノ口添給施ニ依リ其ノ
引出シ交渉ハ漸次好調ニ向ヒツツアリシ折柄俄然京畿問題ヲ中心ニ露支
國交問題惡化シ武力爭鬭ハ到底免レ難キ形勢ナリト觀察サルルニ至ルヤ
支那側ハ唯一ナル對抗策トシテ白系露人ヲ利用スルコトニ決定シ露人
セメヨノフ將軍ヲ起用スヘキ計畫ヲ實現スヘク本月十五日某支那人二名
留守司令榮臻ノ内命ヲ受ケセメヨノフニ面會スヘク大連ニ向ヒタル由テ
ルカセメヨノフニシテ若シ張學良ノ起用ヲ快諾セハ來ル二十日迄ニハ齊
々哈爾ニ出發スル豫定ナルヘシトノ見込アリ自分ハ奉天白系露人ノ哈
爾賓事件ニ對スル狀況報告傍々商用ヲ帶ヒテ赴連スルモノナリト語リ居
レリ

「以上」



619219

024



619219

023

F-0223

0452

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

電送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次官
大臣

電信課長

昭和4 一一〇三三 暗

本 哈爾濱省

七月二十日後着

歐一

幣原外務大臣

八木總領事

第二六一號ノ一

貴電合第四一三號ニ關シ

612.77 70h
當地方ニ於ケル一般白系露人ニ對スル支那側今次ノ遣口ニ付テ
ハ大ナル満足ヲ表シ居リ東支ニ於ケル勞農籍露人職員ト雖實際
ノ處以前ハ殆ト無國籍ナリシモ奉露協定ノ實施ニ依リ失職ヲ免
レンカ爲已ム無ク勞農籍ヲ取得シタル者多キカ故ニ斷交トナリ
タル今日モ一向本國ニ歸國スル者無ク却テ東支ヨリ解雇セラレ
ル無キヤヲ考慮シ居ル程ナル趣事態ノ如何ニ依リ再ヒ白系ヲ裝

外務省

S

619219

025

フ事ナキヲ保セス(續ク)

外務省

S

619219

026

F-0223

0453

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

昭和4 一一〇六四 暗

哈爾濱 本省

七月廿一日前着

歐一

幣原外務大臣

八木總領事

第二六一號ノ二

(二)而シテ軍人出身ノ白露軍殘黨ハ軍資金及武器タニ入手シ得レハ直ニ蹶起スヘシト意氣込ミ居リ西比利亞自治派ノ巨頭タル「ガラキアチヨーフ」ノ如キハ數日前駐在武官澤田中佐ヲ訪問シ時機到來セルヲ以テ舉兵シ度キモ白露系露人ハ張宗昌軍ノ露兵團カ酷使セラレタル經驗ニ鑑ミ支那側ニ軍籍ヲ置クヲ喜ハス支那側トノ同盟軍(直ニ七萬五千ヲ召集シ得)ヲ組織シ度キモ資金入手困難ナル旨語リタル趣ナリ(澤田中佐ハ銃器調達方同人ノ依

外務省

頼ヲ拒絕セル由)尙今回東支ニ採用セラレタル白露系技師「マーモントフ」最近巴里ヨリ若干資金ヲ携ヘ來レリ「サゾノフ」帝政中佐「サハロフ」帝政少將等ノ一味ハ約一箇月前當地ニテ約五百名ノ白色「バルチザン」軍ヲ組織シ當時不取敢内百名ヲ沿海州ニ潛行セシメタル事アリ同支隊ハ目下沿海州「ハンカコ」ノ北方「アレクサンドロフスク」方面ヲ荒シ居レルカ武器彈藥ニ不足ヲ來タシ其ノ補充方督促ノ飛脚頻リニ當地本部ニ來リ居ル由(續ク)

外務省

S

619219

028

S

619219

027

F-0223

0454

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

電信課長

大臣

次官

(吉田)

亞細亞 通商 條約 情報 文化 人事 會計

寫送先

昭和4

一〇三二

暗

哈爾濱

本省 七月廿日後着

歌

幣原外務大臣

八木總領事

●第二六一號ノ三

又張景惠ハ數日前當地白系將校同盟會長「バルシロフスキー」少將(會員ハ當地ニテ約五千沿線ヲ合シテ約一萬)外一名ノ帝政將軍ヲ招キ何等カ相談ヲ持チ出シタルヤノ聞込アリ又巷間ニハ近ク支那軍憲ハ支那籍露人(當地方約三千ヲ算ス)ノ強制募集ヲ爲シ遊撃軍ヲ組織スヘシトノ風説モ傳ハリツツアリ當(地)白軍殘黨及青年間ニハ確ル指導者アラハ蹶起セムトノ氣運漸次擡頭シ齊齊哈爾モ目下ノ處ニテハ往電第一四六號ノ通資金武

外務省

S

619219

029

器ノ出處無キ爲幾許ノ見込アルヤ疑問ナリ

(白)尙奉天駐在ノ「オストロウーモフ」人格左程高潔ナラス近年ハ

殊ニ支那側ニ迎合シ白系露人ノ利害ヲ顧ミサル爲一般ノ氣受ケ

薄ラキツツアルヲ以テ前記ノ諸情報乃至風説ニ關聯シ「オ」ノ

名ヲ聞カス

上海ヨリ南京ヘ轉電アリタシ

支、奉天、上海、天津、關東廳長官ヘ轉電セリ

長春、吉林、滿洲里、齊齊哈爾ヘ暗送セリ

外務省

S

619219

030

F-0223

0455

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

6/22/77 Toshio

昭和4 一一〇九九 暗

上海 本省

二十日後發 七月廿一日後着

歐一

幣原外務大臣

上村總領事代理

第八八四號

貴電合第四一三號ニ關シ

當館警察ノ諜報ニ依レハ

本月四日當地居住元「セミヨノフ」參謀「ウラシエフスキイ」少將ハ王正廷ノ情報顧問佛國人「アルフレツド」ド、クロツス」(波蘭系猶太人ニシテ佛國ニ於テ教育ヲ受ケ同國國籍ヲ取得セルカ現在支那國籍ヲモ有スル二重國籍者ナリト云フ)ト同伴「セミヨノフ」ヲ訪問スト稱シテ大連ニ向ヒ「ウ」ハ十六日入港ノ櫛丸ニテ

外務省

S

619219 031

歸滬シ「ド、クロツス」ハ大連ヨリ奉天北京天津經由陸路數日中ニ歸滬ノ豫定ニテ「セミヨノフ」自身モ近ク來滬シ蔣介石トモ面談ノ筈ナリト云フ尙「ド、クロツス」及「ウ」ノ「セミヨノフ」訪問ノ用件ハ王正廷ノ内命ニ基キ過般「セミヨノフ」來滬シ王正廷ニ請願セル蒙古方面ニ於ケル白系露國人ノ移住地設定問題ニ關スル交渉ノ爲ニシテ「ド、クロツス」ハ王正廷ノ意思ヲ傳ヘ大体ニ於テ「セミヨノフ」ノ提案ヲ承諾シ假協定ヲ作製シタル由ナルカ近ク「セミヨノフ」來滬ノ上調印スルニ至ルヘシト云フ尙「ウ」ハ「セミヨノフ」カ國民政府ノ諒解ヲ得テ蒙古方面ニ白

露人ヲ糾合スルコトアル場合當上海ヨリ幾何ノ兵數ヲ招集シ得ルヤノ調査ヲモ命セラレタル由ニテ報告書ノ作製ニ忙殺サレ居レリ

S

619219 032

外務省

F-0223

0456

（昭和四年七月二十日）

571.711
671.007

在滿關關關指內外拓
支鐵州東東廳省關
各情在憲軍府警書
事報海兵參縣保次記次
務課武隊謀長局官官
官長官長長官長官長官
股股股股股股股股股

東鐵回收問題ト白系露人ノ策動

關東廳警務局長

關米局
關機高收第二〇五九七號ノ二
昭和四年七月二十日

昭和四年七月廿五日接

平田
東鐵回收問題
白系露人ノ策動
北條
執行

S

619219

034

ト云フ

眞偽詳カナラサルモ何等御參考迄
支、南京、奉天、哈爾濱ニ轉電セリ

外務省

S

619219

033

F-0223

0457

支那側カ東鐵回收着手以來奉天在住白系露人中西伯利亞獨立自治團並キリ
ル派等ハ俄ニ異常ノ緊張ヲ示シ成行ニ深甚ノ注意ヲ拂ヒ露支國交ノ斷絶並
戰端ノ開始等ヲ切望シ居レルカ西伯利亞獨立團補佐役ボロチコフノ如キ東
北軍司令長官公署勤務トマセーフスキヤ少將グレゴリ大佐等ニ接近シ國交斷
絶ノ場合白系露人義勇軍編成ヲ建議シ荐リニ運動ヲ爲シ居レルカトマセ
フスキヤ少將ハ東北軍司令長官公署ノ命ヲ受ケ本月十六日赤衛軍軍情觀察ト
シテ哈爾濱ニ出發シタルカボロチコフハ哈爾濱在住自治團長ガラワチコフ
今後ノ活動方策打合ノ爲ナリトテ本月十七日哈爾濱ニ向ケ出發ノ豫定ノ趣
ニ付其ノ動靜注意中ナリ

「以上」



619219

035

F-0223

0458

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

米局

第一條

兵外務部一九四〇年
昭和四年七月廿六日

昭和四年七月廿四日接受

上

内務大臣 海軍大臣
外務大臣 陸軍大臣
指定 陸軍大臣 海軍大臣

陸軍大臣 海軍大臣
陸軍大臣 海軍大臣

△ 陸軍大臣 海軍大臣
陸軍大臣 海軍大臣

首題 陸軍大臣 海軍大臣
陸軍大臣 海軍大臣

有之 陸軍大臣 海軍大臣
陸軍大臣 海軍大臣

陸軍大臣 海軍大臣
陸軍大臣 海軍大臣

S

619219

037

S

619219

036

F-0223

0459

勤勞員ヲ拘執セザルニ邦側ニ不利ナリ
四、^{ミウエイト} 従来行ヒタル宣傳ヨリ自
縄自縛ニ陥リ

カソウェイトノ威ニハ万国ノ希望スル所ナリ

一、^{カソウェイト} 露國ヨリ支那ニ對シテ宣言シタル露
支國交斷交ハ支邦側ニ取リテハ危程言フ
ノ必要ナシ。コノ狀勢ガ一月継続モバハ支邦
側ヨリ嘆声ヲ發スル事必知ナリ 余カ今
支邦ノ立場ニ在リトスルハ宜シク露兵ニ向テ國
交斷絶シテオモハシ計畫ニ入リ即北滿ニ移
シテ軍用計畫ニ進ミ沿海州進出ヲ急ム時
スハモナリ

二、^{カソウェイト} 不幸ニシテ支邦側ガ北滿ノ實利ニ行

テ則北滿ノ支邦ノ海軍力ヲ牽ケテ浦
塩斯處ニ殺到セリ該港ヲ封鎖シ
以テ糧食ヲ加ハ利収即漢陽ヲ奪取ス
ルハ支邦ナリ信ス。

S

619219

039

S

619219

038

F-0223

0460

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

三、今日申す支那の領土ヲ退去セシムル影アリ
イニト分交ぬサウイニト機曾從めあつた拘禁
るへし若し三ノ自由を歸せしメニガ必ス支那側
の外交官等ヲ拘禁セシメ何しニモ
支那側ノ通官ハ免レサルニト以テ宣シテ先ツ
ソウイニト要人ヲ帰止リ強スルニト云々ハ必要
且ツ得難キナリ

四、布ヨリ日本對シテハ福親ハ毒露ヲ滴ミ支那側
ニ傾キ總健自衛ノ態度ヲ移リタルハ誠ニ強
難キニトナリ何ヲ先ツ愉快ニ感スルハソウ
イニトが毒ヲ支那ニ向テ滴ミ主權侵奪上
阻テ武器トシテ支那人ヲ殺スルハソウイニト
ニ反シテ自衛自縛ノ形勢ナルニトナリ

以テ無味ナル問題ハ白晝ニリハルハ喰食宿業
表露シテ強權ノ際ニ其意ヲ示シ
日本ノ手ガ延ビテ居リテ暗ニ宣傳セシメ
國ノ事件ヲ強ク何ニモ罪ヲ負ハシムルハ
可能ナリ

五、ヨモヤリ布トモ葉トモモ持傷レ得ナルヘシ
ニトナリイニト露出ノ減亡ハ何レノ家ニモ好マ
シトナリ何故ニ此好持家ニ支那或ハ白晝
討テテ積極的援助ヲ與ヘザルカ之レヨリ
予ノ多事ニ支トシテ有向望シテ以テ邊境
痛楚ノ然ラシムルニ現今伊太利ヲ除ク
在東列國ハヒトモ西家ノ利害ヲ忘レテ唯ニ政
治上ノ權利ノミニ存心スル者果シテ然ランカ

[S]

619219

041

[S]

619219

040

F-0223

0461

0462

(分類) 1. 2. 5-4-1

外務省

陸軍局

秘

陸田文

電報

昭和四年七月廿二日

昭和四年七月廿日 接受

参謀次長宛

支那公使館附武官

支那軍人宛

七月十九日張學良ハ蔣介石ニ對シ從來赤系露人
ニ怨ヲ懷キアル白系露人カ露支關係決裂ノ機ニ於
テ支那軍ト共ニ赤軍ヲ攻撃セシトシ「セミヨ」フハ四
ノ白系露人ヲ率ヰテ支那軍ノ先鋒タラントノ申
出ニ對シ許可シテ差支ナキヤハ問合セタリト云フ

S

619219

045

(分類) 1. 2. 5-4-1

外務省

陸軍局

秘

陸田文

電報

昭和四年七月廿二日

昭和四年七月廿日 接受

参謀次長宛

天津軍参謀長

天津中平水港

一 天津地方ニ於ケル露國共產黨員ハ今ノ處何等積極
的行動ヲナスコトナク屏息シ居レリ
二 當地白系露國人ハセメヨ「ノ」蹶起スルモ彼ハ事ヲナシ
能ハサルトノ意見ニ致シ生活ノ安定ヲ得タルモノハ何等
動搖ノ色ナク少數浮浪者ニハ此際東支鐵道方
面ニ行ケハ仕事ヲ見付ケ得可シト考ヘ動搖シアリ
附東支中平水港上海奉天ニ

S

619219

044

F-0223

0463

亞細亞局

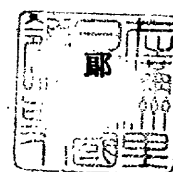
機密公第一八四號

昭和四年七月二十二日

在滿洲里

領事 田 中 文 一

外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿



支那側ノ白系露人武装團利用ニ關スル件

今同ノ事件ニ關シ當地支那軍部ハ白系露人ヲ利用スルコトセルカ七月十七日密偵トシテ十名ノ白系露人ヲ雇入レ國境ノ狀況ヲ偵察セシメ

タル趣ナリ

「セメノフ」系白黨「ウオロソフ」カ情報者ニ語ル處ニヨレハ同人ハ十九日同志ヲ糾合シテ一隊ヲ組織シ勞農赤軍ニ當ラントシ武器ノ交附方ヲ當地司令部ニ申出テタル處支那側ハ隊員名簿ヲ要求シ之ニヨリ愈々開戦ノ際ハ各人ニ對シ小銃一挺彈藥二百發宛及機關銃二挺ヲ與フル旨約束セルヲ以テ同人ハ部下ヲシテ隊員ヲ募集中ニテ其數ハ三百人ナリト又他ノ情報ニヨレハ支那側ハ右申出ヲ當地居住白系露人二千餘ノ代表ノ願出ナリトシ其措置擬ニ付二十一日奉天及齊々哈爾濱ニ電請スル處アリタリトノコトナリ

右御參考迄報告申進ス

本信寫送付先 奉天 哈爾濱

S

619219

047

BII

S

619219

046

BI

F-0223

0464

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

外務省 陸軍局

第一課

陸 同 文

昭和四年七月十五日

昭和四年七月十四日 陸軍

電 報

七月十五日午後二時 陸軍

參謀次長宛

陸軍 澤田中佐

哈爾濱電第一三三號

(分類) 九. 2. 5-45

△ 時局ヲ利用スル白系露人ノ我党ハ未タ組織立テタルモノナレ唯
 「ゴロワキヨフ」博士ノ西北利重自治團ハ此際日本ノ後援ニ依リ
 進ニ沿海州ヲ台領セシメトテ企圖シ過日二千五百名ノ支
 隊ヲ編成シ支那軍ト協同作戰スルノ案ヲ以テ支那側ト
 交渉セシモ支那側ハ開戦前ニ白系露人ヲ武装スルヲ
 恐レ未タ其態度ヲ明白ニセス又「ゴロワ」少將「ナザロフ」
 中佐「マアキ」少佐「技師等」ヲ中堅トスル約五百名ハ武器
 サヘ入手セハ直ニ時局ニ莫大スハントナレ既ニ其一部百餘名

ハ事件前ヨリ沿海州ニ入り「バルチヤン」的行動ヲ開始シ
 居レリ

S

619219

049

S

619219

048

F-0223

0465

寫送先

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 會計

大臣 次官

電信課長

昭和4 一一五四四 暗

哈爾濱 本 省 七月廿七日後着

歐、亞

幣原外務大臣

第三一六號

滿洲里發本官宛電報第五三號

大臣へ轉電アリタシ

第五六號

當地交渉員代辦兼瀋陽縣長カ廿六日當館藤野ニ對シ語レル所ニ依
レハ支那側ニテハ南京ヨリ命令ナキ限り開戦スルノ意思ナク當地
軍憲ハ目下ノ處只管防備ニ付テ準備スルノミナリ白霧人ニ付テハ
特ニ警戒ヲ怠ラス事件ヲ惹起スルハ彼等ナルニ依リ特ニ監視ヲ怠

外務省

619219

050

ラサル次第ナリ「アルゲン」河室奇乾方面ニテ數日前ニ白霧人
カ事ヲ舉ケントシタルモ支那警察ノ知ル所トナリ直ニ鎮壓セラレ
タリ支那側ニテハ可成白霧人ヲ遠避ケ「ソ」聯邦ノ惡感ヲ挑發セ
サル様留意シ居レリトノ趣ナリ

支、奉天へ轉電セリ

外務省

S

619219

051

F-0223

0466

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

F/9.2.5-4-5

671.007

蔵米局

第一課

昭和四年八月六日 接受

公報第二乙號

別紙添附

昭和四年七月二十六日

在浦潮斯德

總領事 渡邊理惠

外務省男爵秘書長喜望郎殿

白書一紙處刑三回分件

往電第二三三號所報本件三回分本月

平六日発刊機開紙「シラスノイ」スチーヤレ却

板済并序迄原文、以茲ニ送付ス



619219

052



F-0223

0467

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

Сообщение полномочного представительства ОГПУ ДВК

26/10/1929.

Развитие за последние дни активности русской белогвардейской эмиграции на границах Дальневосточного края (нападение вооруженной назаровской банды на пограничную заставу в ночь с 21 на 22 июня во Владивостокском округе, переход вооруженной банды 12 июля через границу на территории Читинского округа, задержание отдельных вооруженных лиц и групп при попытке к нелегальному переходу границы и т. д.) при прямой поддержке китайских властей целиком подтверждает имеющиеся в ОГПУ данные о начале проведения в жизнь решенной русскими белогвардейцами перейти к активной диверсионно-террористической деятельности на советской территории, направленной к срыву мирной экономической жизни страны.

12 июля при переходе нашей границы в Забайкалье органами ОГПУ были арестованы белогвардейцы: Раздобреев, Андрей Михайлович, Герасимин, Алексей Андреевич, Непомнящий, Александр Алексеевич и другие. Водителю были вооружены гранатами и револьверами с большим количеством патронов. Произведенным расследованием установлено, что банда перешла на нашу территорию по заданию и при полном содействии китайских властей с целью вредительских актов, как то: взрыва железнодорожных мостов, огнеснарядов и организации банд из белогвардейско-кулацкого и уголовного элемента.

17-20 июля в Амурском районе задержан еще целый ряд русских белогвардейцев, перешедших государственную границу для аналогичных действий.

ОГПУ в своем судебном заседании от 23 июля с. г. рассмотрело дела нижеподлежащих белогвардейцев-бандитов:

1. Дуганова, Валентина Леснидовича, дворянина, бывшего полковника, с

1924 года занимающегося бандитской деятельностью. Дуганов делал систематически налеты на советскую территорию и был задержан при нелегальном переходе советской границы с диверсионными и террористическими целями. В своей бандитской деятельности Дуганов был связан со штабом китайских войск в Муздене, который в 1926 г. освободил его из сахалинской тюрьмы, куда он был заключен по настоянию советского правительства за бандитскую деятельность на территории СССР.

2. Башнирова, Герасима Степановича, бывшего полицейского агента харбинской контрреволюционной организации генерала Сахарова, Н. П., формирующего в настоящее время по заданию штаба китайских войск отряды и группы, белогвардейцев для вооруженного выступления на нашу территорию и возглавляющего монархическую организацию — дальневосточный корпус русских добровольцев.

3. Пермина, Александра Ивановича, бывшего поручика колчаковской армии, направлявшегося в СССР с террористической целью.

4. Аплина, Мурзы Касимовича, крупного сахалинского коммерсанта-контрабандиста, члена фашистской организации.

5. Метелева, Якова Федоровича, бывшего хорунжего, участника многих бандитских выступлений на Амуре.

6. Муганцева, Георгия Ивановича, бывшего белого офицера, направлявшегося в СССР для диверсионных и террористических актов.

7. Сергиенко, Дмитрия Филлиповича, офицера, добровольца семеновской армии, участника тарательной экспедиции армии Меркулова, члена монархической организации бывшего генерала Хорвата, перешедшего на советскую территорию с террористической целью.

8. Деревягина, Моисей Тозьевича, агента харбинской фашистской организации.

9. Зуева, Михаила Федоровича, агента той же организации.

10. Володина, Михаила Савельевича, видного участника субсидируемой китайскими властями банды Арестулова.

11. Елнина, Андрей Федоровича, неоднократно участвовавшего в бандитских налетах на нашу территорию.

12. Раздобреев, Андрей Михайлович, задержанного при трехкратном переходе государственной границы по поручению белогвардейцев Воронова И. Н. и Почекуннипа А. А. видных деятелей контрреволюционной организации, возглавляемой бывшим полковником Назаровым, прибывшим из Парнга в Харбин с целью организации белопартизанских отрядов, вооруженных налетов на нашу территорию, террористических актов и прочее. Раздобреев имел задание организовать в Забайкалье ячейки назаровской организации. Назаров Ф. Д. работает при полном содействии китайских властей.

13. Тараскина, Алексея Андреевича, члена назаровской организации.

14. Непомнящего, Александра Алексеевича, члена назаровской организации.

15. Бондарева, Игнатия Ивановича, агента харбинской контрреволюционной организации, генерала Сахарова Н. П. и

16. Слепцова, Павла Васильевича, участника бандитских налетов на Амуре, члена фашистской организации.

постановило:
— всех перечисленных выше лиц расстрелять.
Приговор приведен в исполнение.

S

619219

053

F-0223

0468

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人文

文書

會計

寫送先

昭和4 一四七五 暗

上海 廿七日前發
本省 七月廿七日前着

歐一

幣原外務大臣

重光總領事

第九〇〇號

往電第八八四號ニ關シ

「ウランシェフスキー」ハ本月十六日大連ヨリ歸滬シ「セミヨノ
フ」ノ再起援助ノ爲種々活動シ本月廿日在當地白系重要人物「ザ
イワオフ」(元陸軍少將)以下約二十名ヲ「ド、ケロツセ」ノ居
宅ニ糾合シ時局ニ對スル態度決定ヲ中心トスル協議會ヲ開キ種々
討議ノ末支那援助論ハ九對十一ノ少數ヲ以テ破レ結局當地白系ト
シテ白軍組織其ノ他積極的行動ハ差控ヘ中立ノ態度ヲ持スル事ト

外務省

S

619219

054

ナレル由聞込ノ儘

北平、奉天、哈爾賓、南京ニ轉電セリ

外務省

S

619219

055

F-0223

0469

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

昭和4 一一五二四 暗

奉天 廿七日後發
本省 七月廿七日後着

歐、亞

幣原外務大臣

林總領事

第四六五號

貴電合第四一三號ニ關シ

露支紛糾ニ依リ最近當地西比利亞獨立國補佐役「ボロチコフ」ノ
哈爾濱往復、元「セミヨノフ」部下「ウラジミル、スルツキー」
ノ大連「セミヨノフ」往訪、元張宗昌特殊部隊長「ウチヤエフ」
少將大連ヨリノ來奉、元東支經濟局長「ジーキー」ノ來奉等主要
白系露人ノ往來ト共ニ當地白系露人一部ニモ緊張ヲ示シ來レルヤ
ノ感アルモ目下ノ處未タ何等具體的策動ノ模様ナク又支那側ニ於

外務省

S

619219

056

テモ白系露人操縦ノ具體的事實アルヲ聞カス當地居住露國人約九

千五百名中白系ハ七千名ニシテ一般ニ今次支那側ノ措置ハ國際信

義ヲ無視スルモノトシテ非難シ居ルモ彼等ハ主義上到底赤系トハ

氷炭相容レサル關係ニアリ白系窮極ノ目的ハ反革命ノ實行ニアル

ヲ以テ萬一露支兩國干戈ヲ交フルコトモアラハ其ノ目的達成ノ方

便トシテ支那側ト結フコトアルヘキモ最後迄支那側ト事ヲ共ニス

ルコトナカルヘキノミナラス當地白系政治團體ハ「キリル」「ニ

コライ」兩派及西比利亞獨立國ノ三派ニ分タレ其ノ結束堅カラス

事變ニ携ハリ得ヘキモノモ僅ニ三百名ニ過キササルヲ以テ何等目立

チタル行動ニ出ツルヲトナカルヘシト存セラル

支、奉天、上海ニ轉電セリ

外務省

S

619219

057

F-0223

0470

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

歐米局 第二卷

昭和四年七月廿九日 接電

昭和四年七月廿九日

電報

青島駐日領事館

參謀次長宛

蘇聯邦大使館附設官

△ハバロフスク發電

ハ、二十日夜烏蘇里州ニ白党武装團カ國境關門ヲ襲撃シテ捕ヘラレ

ハ、二十日後貝加爾州ニ於テハ鐵道破壊自的ヲ以テ爆弾發射ヲ有スル白党ノ一團カ國境ヲ突破シテ捕縛セラレ

ハ、二十七日ヨリ二十日ヨリ黑龍州ニ於テ白党カ露領ニ侵入シテ捕縛セラレ

ハ、二十七日ハ調査結果十六名ヲ射殺セル旨公表セリ

S

619219

058

外務省

歐米局

第一課

昭和四年七月廿九日 接電

陸軍省

電報

參謀次長宛

第一課

昭和四年七月廿九日

七月廿九日午後一時分發

陸軍省

記

△

鮮南極東露領各地ニ白色ハルチガンノ秘密裡ノ活動農民ノ暴動等傳ラル、モ恐ラク爲ニスル宣傳ナラン唯

グロブコオ附近ノ農民力數日間市軍ノ給養ヲ拒絶シ爲ニ財藏食糧ノ料束ヲ憂慮シ遂ニ之ヲ拒絶シダバーウ

部隊トノ間ニ小衝突ヲ来セリトノ情報ハ或ハ真ナランカ

關東 奉天

S

619219

059

F-0223

0471

米局

第一課

昭和四年七月廿五日接受

陸同文

昭和四年七月廿九日

電報

青島電報 五〇號

參謀次長宛

陸軍省 中佐

第十本電報

滿洲里電報

一時局ニ関連シテ露國ノ操縦スル「コマンバール」蒙古青島
ノ策動アルヘキヲ豫想スルモ目下ノ處未タ其模様ナキカ如シ

ニ滿洲里海拉爾附近ニ於テ豫テ行ハレアリシ白党露人ノ
蠢動ハ一時局ノ爲指導者避難等ノ爲希テ頓挫ノ形アリ
露國(赤)ニハ頗ル白党運動ヲ過大視シ注意シタルカ
如シ

附米本末

S

619219

060

F-0223

0472

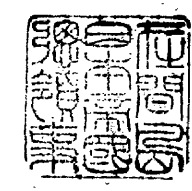
歌米局 第一課
機密第八七〇號

昭和四年七月二十九日

昭和四年八月參日 接受

在間島

總領事 岡田兼



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

白系露人ノ時局通信ニ關スル件

(彈春分館報告)

本件ニ關シ七月十九日在哈爾濱賓白系露人イワシヨ一
フ(元白軍ゲゲリツクス將軍麾下)ヨリ彈春縣城居住
ル一ブリラスキー宛時局ニ關シ通信シ來リタリ
要旨左記御參考迄

記

通信要旨

(前畧)歲月ヲ經ルニ從ヒ懷シキ祖國ノ戀ミサハ一層其
ノ度ヲ増シ亡命客タル我身ニハ到ル處苦痛ノミナリ
一九二四年露支間ニ締結サレタル奉露協約ハ東三省
交通委員ノ為ニ破約セラレ東支鐵道管理局局長エムシヤ
一ノフ及同副管理局局長エムシンドレフ以下多數ノ東
鐵職員ハ七月十一日本國へ追放サレタルノミナラス東支
沿線ノ電信電話ハ勿論東支鐵道ハ強制的ニ支那側ニ
移管セラレ東三省交通委員會、管理局局長後任ニ沈
某ヲ任命シタリ北滿ニ於ケルソウイェト露國勢力ハ
茲ニ全ク覆ヘサルニ至リソルカツウイェト當局ハ此
ノ耻辱ヲ甘受スルニ忍ビス對抗策ヲ講シツツアリ哈爾



619219

062



619219

061

F-0223

0473

賓方面ノ支那官民ハ露人ヲ蔑視シソウイェト露國ト
開戦説盛ニ傳ハリ目下不安中ニアリ同志ヨ貴地
方ノ状況ハ如何若シソウイェト政府ト支那政府ト開戦
スルニ於テハ我等亡命同志ノ活躍スヘキ好機タルヘ
シ目下ノ處只管露支間ノ時局如何ニ變遷スルヤ大
イニ注目ノ要アリ同志モ貴地方ニ在在スル各位ニ此旨ヲ
告ケラレ視線ノ統一アレハ満足スル處ナリ云々以下畧

一九二九年七月十三日

於哈爾濱 ユ、イワシヨーフ

本信寫送付先

華僑奉天吉林哈爾濱各總領事、長春鐵嶺、安東各領事、通化分館主任

朝鮮總督、咸南、咸北、平北各知事

朝鮮軍第十九師西參謀長羅南憲、兵隊、延吉、間島西派遣員

管内各分館主任、各署長、分署長

S

619219

064

S

619219

063

F-0223

0474

外務局
外務部第八一第三號

昭和四年七月三十日

大阪府知事 柴田善三郎

内務大臣 安達謙藏殿
外務大臣 芳澤 常原喜重郎殿
指定各廳 府縣長官 殿

露支國交断絶ト白露人ノ動靜ニ
關スル件

露支ノ國交断絶ニ伴フ管下在任白系露人ノ

動靜及露支貿易業者ノ反響ト銃砲火
藥並軍需品ノ輸出状況ハ嚴密視察ヲ繼續
スルト同時ニ一部其ノ状況屢報ノ所其ノ後兵
庫縣下居住當所西區土佐堀一丁目大同セル
内白露系「フォン・ウイツケン」ニ對シ東支鐵道
新任長官「オストロモフ」ヨリ急遽帰哈ノ招
電アリタル報ヲ傳ヘラレ同人ハ近ク大連經由
渡哈スルヤニ伴キ内偵スルニ本名ハ舊帝政時
代新任長官ノ幕下トシテ軍籍ニアリ曾テハ在
邦露國大使館附武官トシテ在任シタル事アリ
シモ露國帝政ノ一度潰滅ニ期スルヤ極端ナル赤

東支鐵道ヲ保一作
露支國交断絶ノ際
昭四年八月五日
不素行

S

619219

066

S

619219

065

系ノ迫害ノ下ニ置カレ再來各所ヲ轉々中本年
一月既報田中南洋貿易商會極東部ノ支
配人トシテ被在今日ニ至リレド這次東支鐵道
ノ回收事件突發シ從來ノ赤系中心ノ全鐵道モ
遂ニ再ヒ白系露人ヲ以テ之ヲ換フルニ至リ隨
テ如上「オーストロモフ」ニ於テ新任長官ノ榮冠
ヲ贏テ得ルニ至レルヲ以テ豫テ本名ニ極秘程
ニ何事カ策動スル所アリタル報ノ所本月ニ
六日前叙新長官ヨリ繙帶材料カセ脱脂綿
等ノ醫療所屬品雜貨品等ノ商談ニ關シ急遽
來哈ヲ促シ來タレル報ニ作キ引續真想内偵

右及申(通)報候也

S

619219

068

S

619219

067

F-0223

0476

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

外歐米局
秘

第八三二號

昭和四年八月三日

大阪府知事 柴田善三郎

內務大臣 安達謙藏殿
外務大臣 男爵 幣原喜重郎殿
指定各廳 府縣長官殿
在哈爾濱 久保田內務事務官殿

露支國交問題ト白系露國人ノ動
靜内偵ニ關スル件

住所 兵庫縣神戸市中尾町

通勤先 大阪市東區瓦町山口ビル内

新野邊極東貿易部

支配人

フ
オ
ン
ウ
イ
ツ
ケ
ン

右者新任東支鐵道長官、オーストロモフレヨリ急
遽歸哈ノ電報ニ接シタルヤニテ近ク大連經由
渡哈ノ趣キ客月三十日外祕第八一三號一既報
ノ次第ナルカ本名ハ今三十日神戸出帆ノ汽船
ニ乗ルニテ一路大連經由渡哈シタル模様ナ
ルカ其ノ歸哈ノ目的ニ付キ内査スルニ晨ニ既報ノ
如ク表面緋帶材料「カーゼ」脱脂綿等ノ醫療附



619219

070

S

619219

069

F-0223

0477

属品雜貨品ノ注文ニアリタルモノ、如ク減シツ、ア
ルモ或ハ此ノ機會ニ於テ新任長官ト從來ヨリノ
師弟關係ヲ述リ東支鐵道ニ就職ノ意圖ニア
ラザルカトモ認メラル、ニ作キ引續キ注意中ナ
ルモ一應兵庫(貴)縣ニ於テモ御内偵相成度
右及申(通)報候也



619219

071

F-0223

0478

外務局
秘二四三二號

昭和四年八月七日

警視總監 丸山 鶴吉

昭和四年八月八日 接達

内務大臣 安達 謙藏 殿
外務大臣 芳澤 謙吉 殿
指定廳府 縣長 官殿
在支 各内務事務 官殿

露支問題ニ關シ白系露人ノ動靜ニ
關スル件

露支問題紛糾ニ伴ヒ白系露人ハ種々策動シ軍

事公債ヲ發行シ本邦内地ニ於テ頒布セル事實
モアル趣關係廳ヨリ通報ノ次第モアリタル處
管下ニハ未ダ同公債ヲ買受ケタルモノナキ模様ニ
テ在留者ハ概シテ平靜ニシテ特異ノ行動ナク又最近
在哈露人ヨリ北明會員鳥居忠恕宛左記梗概通
信アリタル由ニ付御參考迄及申(通)報候

記

今回ノ露支問題紛糾ニ際シ哈市在住ノコソピスコス
メホージールハ極東在住ノ主ナル白系露人ニ對シ
此際白系同志ハ充分自重スルヲ要ス若シ輕舉妄動



619219

073



619219

072

F-0223

0479

寫送先

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

大臣 次官

電信課長

612.7.7 toki

哈爾濱へ轉電セリ

十四日ノ「タス」ハ白黨露人カ東支紛争突發ノ當初ヨリ直接支那軍
援助ノ下ニ蘇聯邦ノ國境地點及良民ヲ射撃セルコト最近數個所ニ於
テ數名ノ死傷者ヲ出シタル事白黨及支那兵ハ獨リ射撃ニ止マラス
「ブラゴエ」松花江河口「ハンカ」湖方面ニ於テ蘇聯邦領内ニ侵入セ
ントシタル事尤モ右ハ蘇側軍隊ノ斷乎タル行動ニ依リ掃蕩セラレタ
ル旨ノ「コミュニケ」ヲ發表セリ

第四〇九號

幣原外務大臣

昭和4 一二五五一 平 莫斯科 本省

十四日後發 八月十六日前着

田中大使

歐一

外務省

S

619219

075

動シ徒ニソウイェト側ニ對抗スルコトアラバ却テ
勞農側ノタメ逆宣傳ニ利用セラレ白軍側ノ不
利ニ歸スル虞アルヲ以テ寧ろ當分沈黙シソダ
イェト政府ノ自然倒壊ノ時期ヲ待ツニ若カズレト
通知ヲ發シタリ

以上

S

619219

074

F-0223

0480

(分類) 9.2.5-4-5

歌米局

機密公第一〇二號

昭和四年八月二十二日

在滿洲里

領事 田中文一 郎

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

時局ニ關シ白系露人ノ策動ニ關スル件

今回ノ露支紛争ニ關シ當地支那軍部カ始露人ヲ雇入レ偵察任務等ニ使
用シ現在ニ於テモ砲兵及工兵ニハ若干ノ露入指揮者ヲ有スル次第ナル

昭和四年八月廿八日接受

BI

カ紛争ノ當初白系露人モ策動シ支那側亦之ヲ利用セントスル情勢アリ
シモ支那側ハ七月下旬ヨリ其態度ヲ變シ却テ之ヲ取締ルニ至リタルコ
トハ既ニ報告致置キタル處ニシテ八月二十日「ホルツツト」ノ代表者
「トロヤンスキイ」來滿梁司令ニ面會シ白系避難民間ニ少シク活動ノ
色アリタルカ其後取調ヘタル處ニヨレハ同人ハ白系露人避難民ニ對シ
此際別ニ支那ニ歸化スル様ノ事ナク從來通ノ態度ヲ持シ何等妄動スル
カ如キコトナキ様申傳ヘ只相互間ノ連絡團結ヲ期スヘキ旨申合セタル
趣ナリ
他方梁司令ハ白系露人カ策動スル噂ニ關聯シ自分トノ關係ヲ打消シ又
此等露人ヲ利用セサル方針ナリト言ヒ齊縣長ハ南京政府ヨリノ命令モ
アリ彼等ト關係ヲ持チ「ソウエト」側ヲシテ白系露人侵入防止ノタメ不

BTI

S

619219

077

S

619219

076

F-0223

0481

得已防衛手段トシテ武力ヲ用ユルカ如キ云々懸リヲ付ケラルルヲ避ク
ル必要モアルニヨリ充分之ヲ取締ル積ナリト云ヒ居ル趣ナリ
右報告申進ス

本信歸途付先

奉天 哈爾濱

B11



619219

078

F-0223

0482

外務省

歐米局

第一課

昭和四年八月廿七日 接受

秘

陸軍

昭和四年八月二十六日

電報

八月二十六日 陸軍省

參謀次長宛

陸軍參謀長

閣下第千八百號

△

セミヨフノ一邦人ニ語リシ所左ノ如シ

一、東支線ニ於ケル露軍ノ計畫ハ東ハ穆稜(ホクラ)西方鐵道沿線(西ハ興安ノ線ニ進出シ爾後ハ宣傳ニ依リ支那ヲ屈伏セシメントスルニ在リ現ニ該線ヨリ外方ノ露國人ハ續々引揚ケツ

ニテリ

二、白系露人ノ部隊ヲ綏遠方面ヨリ外蒙ニ策動セシムルノ件ハ蔣介石ハ同意セシモ張學良同意セス

支那側ハ白露人ヲ強制的ニ支那軍ニ混入セシメント止圖シアルモ

露國人側ハ之ニ反對シ目下白系トシテ何等カ爲ス所ナシ

奉天 陸軍省

S

619219

080

S

619219

079

F-0223

0483

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

歐米局

第一〇三三

加藤

昭和四年九月六日

接受

BI

機密第本人一號

昭和四年八月二十九日

在 哈 爾 濱

總領事 八 木 元

外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿



△ 東支鐵道西部沿線免渡河地方ニ於ケル白系
露人ノ行動ニ關スル件

當館諜報者ノ齎セル情報ニヨレハ「ザバイカル」克薩哥出身白系舊
將校「コルデーエフ」ハ支那側ヨリ武器彈藥ノ供給ヲ受ケ白色「バ

S

619219

081

B11

ルチザン」四五百名ノ乘馬隊ヲ率ヒ東支鐵道西部沿線免渡河ヲ中心ト

シ三河地方ニ對シテ活動シ居リ内百八十騎ハ免渡河ヲ去ル四十露里蒙

古國境ニ近キ山窩ニ分散シ居レル筈ナルカ最近河川氾濫ノ爲メ本部ト

ノ聯絡ヲ絶タレ居レリト云フ尙本月二十四日夜「コルデーエフ」一隊

ニ對シ支那側ハ内密醫療及輜重材料ヲ發送セリト云フ

右何等御參考迄報告ス

本信寫送附先

在奉天總領事 在滿洲里領事

S

619219

082

F-0223

0484

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

電信課

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 文化 人文 社會 計畫

寫送先

(分領F1.9.2.5-4-5)

6/27/27 toshi

昭和4 一五一九七 暗

哈爾濱 十四日後發
本省 十月十四日後着

歐、亞

幣原外務大臣

八木總領事

第五二八號

滿洲里北方三河子地方ニ於ケル赤軍ノ「コザツク」農民虐殺事件
ハ當地白系露人間ニ多大ノ「センセイション」ヲ與ヘ折柄過般來
赤系ニ對シ峻嚴ナル取締ニ從事シ居リシ路警署警部「ギアチント
フ」(舊白系大佐)カ去ル九日赤系露人ノ爲薄暮街上ニ於テ殺害
セラレシヲ以テ益々勞農憎惡ノ念ヲ高メツツアル處十二日當地在
住ノ舊「コザツク」軍團代表ハ在哈露人代表トシテ當館及各國領
事ヲ歴訪シ赤軍ノ暴虐ヲ陳述スル所アリシカ更ニ同人等ハ三河子

事件ノ真相ヲ各地ニ通電シ世界ノ義憤ヲ喚起スヘシト計畫シ居レ
リ

尙十二日「ギ」警部ノ葬儀ヲ營ミタル處勞農ニ對シ憤激シ居ル際
ナルヲ以テ會スルモノ六千又翌十三日三河子事件犠牲者追悼會ニ
ハ一萬五千ノ參會者アリ内一部ハ式後獨逸總領事館ニ向ヒ同總領
事カ赤系露人ノ利益ヲ擁護シ居ルニ對シ抗議スル所アリタリト言
フ

支、上海へ轉電シ奉天、長春、齊々哈爾、滿洲里へ暗送セリ

外務省

S

619219

084

外務省

S

619219

083

F-0223

0485

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

歐米局

第一〇三三六

昭和四年拾月廿壹日接受

機密公第三二七號

昭和四年十月十五日

在長春 領事 永井

外務大臣 男爵幣原 喜重郎 殿

白系露人ノ運送業開始ニ關スル件

北京在住「ホルワット」將軍ヲ首領トスル在極東「ニコライ」太公
派ハ太公ノ逝去ト共ニ漸次其ノ勢力失墜シタルカ同派代表等ハ今回
ノ露支紛争ヲ露貨トシ之ヲ機會ニ東支鐵道部内ニ白派勢力ヲ扶殖セ
ムトシ種々策動シツツアリタル處今般大連居住滿鐵囑託「ハンゲン
」將軍及元東支商業部長「トカチエンコ」等發起ノ下ニ同派各地代
表ヲ以テ運送業ヲ開業シ同派振興ノ一助タラシメムトスル計畫アリ

在長春日本帝國領事館

此頃前記「トカチエンコ」來長當地代表「ブーキン」ト會見シ右計
畫ニ關シ打合ノ上歸連セリ該計畫ニ付内査スルニ本居ヲ大連ニ設置
シ北京、上海、奉天、寬城子、哈爾濱、滿洲里「ボクラニチナヤ」
ニ支店ヲ設ケ専ラ極東在住外國人ノ商品貨物ノ取扱ヲナスモノノ如
ク尙「トカチエンコ」ハ元東支商業部長タリシ關係上運送業ニ經驗
アルノミナラス現ニ滿鐵本社囑託ナルヲ以テ東支滿鐵幹部中ニ知己
信用アリ此等ノ援助ニ依リ事業ニ着手セハ相當ノ成績ヲ擧クルコト
難事ニ非ルヘシト觀測セラル

本信寫送付先
在北平 奉天 哈爾濱 上海 滿洲里

在長春日本帝國領事館

S

619219

086

S

619219

085

F-0223

0486

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

歐米局

第一〇五五号

昭和四年拾月廿三日接受

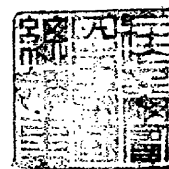
普通第八四六號

昭和四年十月十六日

在 哈 爾 濱

總領事 八 木 元

外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿



白系露人「ポタエシウイリ」ノ白色「コバル
チザン」隊組織ニ關スル件

最近當地「ウイクトリア、ホテル」宿泊中ノ舊露國大佐「コポタエシ
ウイク」ナル者白色「コバルチザン」隊ノ組織ニ着手シ支那側支出ノ

14. 1. 9. 2. 5-4-5

67007

B11

軍資金ニヨリ隊員ヲ國境地方ニ輸送派遣中ナルヤニ聞込ミタルヲ以
テ當館諜報者ヲシテ右内査セシメタル結果判明セル處左ノ如シ

記

「コポタエシウイリ」ハ將校タリシ事實ナシ會テ一九一七—一八年
ノ候西部「シベリア」「イルクーツスク」市附近ニ出沒シ白色「
コバルチザン」ヲ率ヒテ「コメヨノフ」其他ノ白軍ノ「ザバイカ
ル」ニ於ケル活動ヲ援助シ次テ歐露ヨリ白系「カツペリ」軍ノ落
延ヒ來ルヤ沿海州ニ現ハレ此時ヨリ自稱大佐トナリ白系將校ト交
際ヲ結フニ努メタリ

浦鹽ニ於ケル最後ノ白系政權タル「メルクトロフ」政府瓦解後滿
州ニ入り込メリ



619219

088



619219

087

F-0223

0487

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

「現在別ニ何處ヨリモ資金ヲ受ケ居ル模様ナク從テ「パルチザン」ヲ募集シ國境方面ニ輸送シツツアルカ如キ事實ハ全クナキモ資金ヲ得ハ強チ右ノ如キ事業ヲ引受クル意志ナキニ非ス
「ウイクトリア」旅館ニハ「セメヨ」ノ「フ」ノ幕僚トシテ知レ居ル「サウエリエフ」將軍モ宿泊シ居リ「ボタエシグイリ」ハ同人ト共ニ色々ノ計畫ヲ立テ之迄モ軍資金調達ニ運動セルカ目下ノ處未タ成功ヲ見ルニ至ラス
然レトモ「サウエリエフ」將軍ハ當地修學中ノ黑龍江省督軍萬福麟ノ一子息ト交際アル關係上最近其紹介狀ヲ携ヘ萬福麟ヲ訪問シ三河地方ヲ中心トスル「アルグン」國境地帯ニ白色「パルチザン」軍ヲ組織スルノ件ニ對シ萬督軍ノ内約ヲ得タル模様アリ

四更ニ「ボタエシグイリ」ハ曩ニ奉天ニモ運動シ張學良ヨリ主義上トシテハ承諾スルモ實行ハ時期尙早ナリトノ回答ヲ得タルカ今次ノ三河地方ニ於ケル赤軍暴行ニ伴ヒ或ハ奉天ヨリ吉報到ルヤモ知レヌト期待シ居レリ

右報告ス

本信寫送附先

在支公使 在奉天總領事 在滿洲里領事

S

619219

090

S

619219

089

F-0223

0488

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

電信課長

大臣
次官

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
人文
文書
會計

寫送先

(分類4門5類5項目)

67120

昭和4 一五三九〇 暗

哈爾濱
本省

十七日後發
十月十八日後着

歐、亞

幣原外務大臣

八木總領事

第五三七號

滿洲里發本官宛電報

第一一七號

大臣へ轉電アリ度シ

第(脱)號

三河地方ニ於テ赤軍ノ爲セル慘虐行爲ニ付テハ哈爾濱露字新聞ニハ連日喧傳セラレ居ル處當館情報者カ海拉爾ニ於テ聞キ得タル處ヲ綜合スルニ三河地方露人避難民村ハ從前白系露人軍團ノ策動地ナリシ

外務省

S

619219

091

記

モ最近白黨ハ興安嶺方面ニ移リ居リ勞農側ハ正規軍ニアラサル又ハ其ノ變裝セル若干ノ赤色「バルチザン」隊カ數十騎宛同地方村落ヲ襲撃シ食料、被服及家畜ヲ強奪シ居リ十月二日ノ「チンコト」「ナジンブラク」兩村外一ヶ村ニ於テハ前後三回攻撃シ慘(殺)掠奪ヲ爲シ大人四十餘名殺害セルカ婦女小兒ハ少數ナル由ナリ而シテ九月廿六日ノ「アルグン」河ノ畔「ブツラ」支那哨所襲撃支那兵十人及住民二十餘名ノ殺戮同地方住民多數ノ海拉爾へ避難セルコト等ハ事實ニシテ右勞農側ノ暴行ハ他ノ村落ニ於テモ頻々アルカ哈爾濱新聞所報ニハ激烈ナラサルモノノ如シ地方民ハ近ク結氷降雪ニ依リ同地方ノ交通自由トナリ勞農側ノ此ノ種攻略行爲ノ頻發ヲ豫想シ居リ支那側ハ主トシテ鐵道ノ安全ヲ計ル爲其ノ警備ヲ嚴ニスルノミニテ地

外務省

S

619219

092

F-0223

0489

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

0490

32

CF

亞細亞局

歐米局

第一課

加瀬

信

の

昭和四年十月二十六日

接受

B1

普通第八七九號

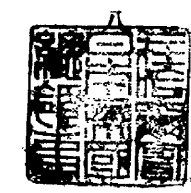
昭和四年十月二十六日

在 哈 爾 濱

總領事 八 木

元

外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿



三河地方襲撃赤軍ノ幹部ニ關スル件

十月二十三日當地發行露字紙「ル・ポル」ノ報スル處ニ據レハ三河
地方襲撃赤軍幹部中今日迄ニ氏名ノ確實ニ判明セル者ハ「モイセイ
・ジューチ」「フヨイドロフ」及「トボルコフ」ノ三名ニシテ其内

671.007m
671.00

S

619219

095

「モイセイ・ジューチ」トハ「ザバイカル」ニ革命内亂ノ繼續セラ

レキル當時久シク白系「ウルゲルン」男ノ率ヒタル別働師團兵站部

御用商人タリシ外一時ハ同兵站部員トシテ庫倫ニ於テ物資ノ購入ヲ

擔當シキタルコトサヘアリ其後ハ海拉爾ニ於テ三河地方産毛皮類ノ

買付猶太商人トシテ相當名ヲ知ラレ今次ハ慘劇直前忽然露領ニ退去

シタルモノニシテ他ノ二名ハ何レモ一九一九年ヨリ「ザバイカル」

方面ニ於テ小部隊ノ赤色「バルチザン」ヲ率ヒキタルカ其後同地方

ニ猛威ヲ振ヒキタル「ヤキ・モフ」ナル者ノ赤色「バルチザン」ニ

投シ次テ「ヤキ・モフ」共ニ正規軍ニ編入サレ現在同人カ國境河

「アルグン」地方駐在赤軍師團長タル關係上其一隊長トシテ今次ノ

慘劇ニ參加シタルモノニシテ性格狂暴、殘忍ヲ極ムル徒輩ナリト

B11

S

619219

096

F-0223

0491

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次官
大臣

電信課長

612.77 Zoshi

第五六六號

幣原外務大臣

昭和4

一五八九八

暗

哈爾濱
本省

十月廿八日後着

八木總領事

亞歐

勞農側ハ絶エス哈府「ラヂオ」放送其ノ他ニ於テ赤軍ノ國境ニ於ケル軍事的行動ハ白系露人ノ敵對的行爲ニ對スル報復手段トシテ已ムヲ得サルモノナリトノ宣傳ヲ續ケ居レルニ鑑ミ最近當地支那側ニ於テハ右ノ虚説ナルコトハ戰線ヲ觀察セル多クノ外國記者ノ證明ナリト聲明セルカ極東白系露人聯合會總裁「ホルワット」將軍モ亦廿七日當地露字紙上ニ於テ右ノ無根ナル旨ノ聲明書ヲ發表セリ
尙十四日ノ哈府「ラヂオ」ハ「サハロフ」少將及「マイオロフ」中

外務省

S

619219

098

右御參考迄

本信寫送附先

在支公使

在奉天、上海、滿洲里各總領事領事

S

619219

097

F-0223

0492

佐カ實際白系「バルチザン」組織運動ニ當リ居ルヤノ「ニュース」ヲ放送シタルヲ以テ取調ヘタルニ往電第二六一號ノ通「サハロフ」ハ東支事件前若干ノ「バルチザン」ヲ組織セルモ其ノ後ハ軍資金缺亡ノ爲手ヲ退キ居リ又「マイオロフ」ニ至テハ革命内亂當時負傷シ目下當地癡兵院内ニ蟄居スル不具者ニシテ此ノ種運動ニ從事シ居ルモノトハ認メラレス右放送ハ勞農側ノ捏造說ト思料セラル

支、奉天、上海へ轉電シ、吉林、南京、滿洲里へ暗送セリ

外務省

S

619219

099

F-0223

0493

支那事務局

歐米局

関機高秘收第三四五七號ニ

昭和四年十二月十六日

関東廳警務局長心得

秘

拓務次官殿

外務次官殿

内務省警備局長殿

朝鮮警務局長殿

哈爾濱總領事殿

在支各事務官殿

露支時局ニ関シ白系露路人言動ニ関スル件

奉天キリル派代表ペトウホー少將ハ約一ヶ月前

671.0072

支那事務局

シヤドウオイ少將ト共ニ赴哈中ナリシカ、本月三日
午前七時三十分着列車ニテ阪奉首題ニ関シ
左記ノ如ク語レリ、右真偽詳クナラサルモ御参考
迄及通報候也

記

支那側讓歩ノ結果、東鉄内部ハ非常ナル恐怖
ト不安ニ襲レ居レリ、即チ現職ニ懸タリシ者系
従業員及事件後入社セル白系露路人ハ當然解
雇サレル運命ニアルヨリ此等従業員ハ前途ヲ
非常ニ危惧シ場合ニ依テハ現職ニ在ル者並ニ
白系露路人等間ニハ内面的提携ヲ共動作ヲ取ル
意旨込ヲ有シ居リ

S

619219

101

S

619219

100

F-0223

0494

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

右ハ白系軍事團體ニ異常ニ活氣附ケタルモノ
ノ如ク有力者「キシリン」ハ二万人ノ白系義勇
軍隊組織ニ付支那側ニ交渉中ナルヲ最近南
京政府ニ於テハ赤露跡カヲ北滿ヨリ一掃シ
併テ今後東亞ニ関スル紛擾ヲ除去スル為メ
日英米佛四ヶ國ノ國際共同管理ヲ認メントノ
意趣向ヲ有スル由ニテ自然右軍隊組織
ニ関シテハ奉天當局ノ意趣向決定セス今尙交
渉中ニアリト。

他面萬福麟ハ同様軍隊組織ノ為メ赤露
人ノ各地ニ派シ義勇兵募集集中ナルモ赤露人
側ニ於テハ山東ノ例モアリコトヲ支那側ノ誠意

ヲ疑ヒ氣味集セサル向ナリ云々。

以上

S

619219

103

S

619219

102

F-0223

0495

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

亞細亞局

昭和四年十一月十六日 接獲

公第 〃 〃 〃 號

昭和四年十一月八日

加瀬

在滿洲里

領事 田 中 文 一



外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿

支那側ノ白黨取締ニ關スル件

露支紛争事件以來當地支那官憲ニ於テハ白黨露人ノ行動ニ對シ幾分ノ取締ヲ加ヘ來レル處白黨側ニ於テハ本月七日ノ「ソ」聯邦革命紀念日

671.007 m

S

619219

104

ヲ期シ反共產黨の宣傳「ビラ」ヲ當地市内ニ撒布スルモノアリタリ右宣傳「ビラ」ニハ露國「ファシスト」團ノ署名アリ從來ノモノト同一系統ニシテ前日哈爾濱方面ヨリ送付シ來レルモノナリ之ニ關シ支那警察ニ於テハ時節柄不穩當ナリト爲シ之カ出所及撒布者等搜查シツツアリ

尙當地白黨ノ活動分子ハ殆ント轉居シ當地ニ居ルモノ極メテ少ナキモ海拉爾方面ニハ未タ多少アリ「ベシコフ」ノ武裝團百數十名ハ雅克石驛附近ノ山間ニ在リト云フ

右報告申進ス

S

619219

105

F-0223

0496

612.77 Toshi.

歐米局第一課

蘭 重
機 細
高 亞
收 屬

第一課甲

蘭機高收第三四七八號ノ一

昭和四年十二月十一日

東 亞 警 務 局 長 心 得

在	吉	內	外
支	林	務	務
各	哈	營	營
事	爾	保	次
務	賓	局	次
官	各	總	官
	領	事	官
	事	長	官

露支時局ニ關シ裏白露人ノ言動ニ
關スル件

東北邊防軍司令長官公署附露國八少將ダレゴリーハ過殺來哈爾濱ニ出張中ナリシ處本月四日歸奉首題ニ關シ左記ノ如ク語レリ御參考迄及通報候也

三

赤軍ノ海拉爾攻擊直後哈爾賓當局ハ在哈内外新聞通信記者ヲ通シ赤衛軍ノ暴逆ナル軍事行動ヲ中外ニ宣傳シ且ツ將來露支交渉ヲ有利ニ轉回セシムヘク海拉爾及西部線一帶ノ視察ヲ懲慝シテ特ニ列車ノ便ヲ取計ヒツツアルカスクテ記者圖視察ノ結果ハ寧口赤衛軍ヨリ支那軍隊ニ於テ退却ニ際シ掠奪強姦シタルモノナリトノ記事各方面ニ現ヘルルニ至リ反對ノ結果ヲ招來セラルヨリ哈市當局ニ於テハ今後同様記事ヲ掲載セサル様極力懷柔策ヲ講シ居ル次第ナルカ右ノ内奉天當局幹部ノ知ル所トナリ非常ニ非難排斥ヲ受ケ哈市當局ハ目下心痛シ居レリ

尙北滿一帶ニ於テハ支那側ニ對スル同情全クナク萬福麟ハ先程三百名ノ騎兵ト白六十名ノ歩兵ヲ以テ露國義勇軍隊ヲ組織セルモ兵ハ全ク戰意ナク時機ヲ見テ寢返リヲ打ツ氣色濃厚ナリ

露支交渉ノ前途ハ全ク豫測ヲ許ササルモノアリテ各方面ニ種々ナル噂ヲ生シ居ルカ哈爾賓奉天兩當局有力者間ニ於テハ結局支那側力或ル程度迄讓歩



619219

107

S

619219

106

F-0223

0497

シテ平和ヲ回復スルヨリ他ニ途ナク第三國ノ誠意アル調停等ハ到底期待シ
得サルモノトノ意向ヲ有シ居ル模様ナリ云々
以上

619219 108

昭和5 一四九五 暗 哈爾賓 廿九日後發 歐一
本 省 一月三十日後着
幣原大臣男爵
第五一號
東支問題情報
ハ東支ヲ解雇セラレタル白系露人約四百名ハ廿七日管理局ニ押寄せ
三ヶ月分給料増與ヲ要求シタルカ巡警二百ノ出動ニ依リ事ナキヲ
得タリ但シ未タ事件解決セサル由尙廿六日夕當地目拔キノ場所ニ
於テ露人労働者百餘名ト支那巡警間ニ爭鬭アリテ軍隊ノ出動ヲ見
タル等「ソ」聯人對支那乃至白系露人間ノ感情一段ニ緊張シ事件
頻出シツツアリ

(F. 25-4-5)

外務省

619219 109

F-0223

0498

正

歐米屈

機密公第三〇號

昭和五年一月二十九日

在滿洲里

田
中
文
一



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

事變ノ際白系露人保護ニ關スル件

關東廳警務局長心得發本月二十四日付秘開機高收第一七二〇號ノ二「露國移民團ノ白系露人ノ被害宣傳ニ關スル情報」末段ニ勞農軍力

昭和五年貳月八日 接榮

外務省

ニ白系團體首腦者ノ追放ニ關スル命令ハ當地警察側ニ既ニ下リタル趣ナルモ未タ之ヲ實行シ居ラス但シ最近警察側ハ約四十名ノ「リスト」ヲ作成シタル由ニ付近々何等カノ形ニ於テ實現スルコトトナルヘシ

〔詩經〕上

S

619219

111

S

619219

110

F-0223

0499

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

白系露人抑留ニ際シ白系露人ハ滿洲里日本領事ノ保護ヲ受ケタルモ其後田中領事ハ勞農軍ノ要求ニ依リ白系露人ヲ放還セル爲遂ニ慘害ヲ受ケタルモノナレハ日本ニ於テハ尠クトモ本件ニ關シ責任ヲ有スルモノナリ云々ト記載シアル處本官ハ白系露人ヲ保護セルコトナク又勞農軍憲ヨリ避難露人ニ關シ何等ノ要求乃至申出ヲ受ケタルコトナキモ當時ノ事情ヲ述フレハ事變前兩三名ノ無國籍露人ノ知人カ勞農軍入市ノ際ハ保護ヲ頼ム旨本官ニ申居リタルカ本官ハ此種露人ノ保護ニ依リ事端ヲ滋クシ他ノ一方居留邦人ニ危險ヲ及ホサンコトヲ惧レ承諾ヲ拒リ居リシ處十一月二十日支那軍ノ武裝解除及支那敗兵ノ掠奪開始ト共ニ保護ヲ請ハシントシテ當館前ニ集合セル露支人多數ナリシモ本官ハ之等外人ノ保護ニ依リ果テ在留邦人ニ及ホサンコ

B11



619219

112

トテ慮リ且ツ收容ノ場所モ無ク保護ノ方法モ不完全ニシテ最後迄保護シ得サルヘキヲ思ヒ尙又勞農側ノ思惑モ考慮シ外人ハ保護セサル方針ヲトリシモ支那要人及露人知人ノ懇請ニ依リ婦女小兒病人等ヲ在留邦人收容所ノ餘地ニ收容スルヲ餘儀ナクセラレタリ然ルニ多數露支人ハ邦人及館員ノ當館構内ニ出入スル毎ニ無理ニ紛レ入込ムモノアリ

B11



619219

113

F-0223

0500

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

勞農軍憲力拘禁シ後ニ露領ニ連行キタル露人ハ約四百名ナル由ナル
カ就レモ當館カ初ノ保護セルモノニ非ス唯當館警察官宿舍家塵タル
ニキチンハ同月二十一日日本官ニ對シ類ニ庇護方ヲ請ヒタルカ生命ノ
危險ハ無カルヘシトテ之ヲ拒ミタリ
右報告申進ス

本信竊送付先

在哈爾濱總領事

關東長官

B11

619219

114



昭和5 一七三七 暗

哈爾濱 本省 四月後發
二月五日後着

幣原外務大臣

八木總領事

第五五號ノ一

一東鐵ノ電信電話回收問題ニ關シ其ノ後ノ諸情報ヲ綜合スルニ東支
鐵道固有ノ事務ニ關スル電信電話管理權ノ返還ハ既ニ完了シタル
モ東鐵側カ電信課ノ原狀回復ハ職制上電信電話一切ノ回收ヲ意味
スト爲スニ對シ支那側ハ市内電話ニ付テハ相當ノ對價ヲ支拂フヘ
キモ電政ノ管理ハ主權ニ屬スルノ故ヲ以テ當地及露領各地間直通
ノ電信電話並ニ鐵道用以外ノ沿線電信使用ニ對シ監督權ヲ主張シ
テ下ラス目下奉天ノ李郵便處副處長ト「イズマイロフ」間ニ交渉

外務省

619219

115



F-0223

0501

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

中ナルモ多分客年五月ノ「エイスマンド」及蔣郵便處長間ノ協定
ニ準據シ交通委員會及東支双方ノ委員ヨリ成ル委員會ヲ組織シ解
決ヲ計ルコトトナルヘシト云フ（續ク）

（赤特紙）

外務省

5.8
S

619219

116

昭和5 一七三六 暗 哈爾賓 四日後發
本省 二月五日後着

幣原外務大臣

八木總領事

第五五號ノ二

白系露人追放ニ關シ當地特別區警察ハ「ホルワツト」「オストロ
ウーモフ」「サハロフ」（帝政軍中將）「シリニコフ」（「セメ
ヨノフ」軍少將）「ボルトニコフ」（帝政軍大佐）「ベシニコ
（「セメヨノフ」軍大佐）外二名ノ特別區内ニ居ル場合ノ逮捕命
令ニ接シ居ル趣ナルモ之ヲ實行スルノ意圖ナキ模様ニテ現ニ「サ
「シ」「ボ」ノ三名ハ當地ニ滞留中ナル由ナリ
「タリバンク」ハ既ニ貸出以外ノ業務ヲ開始セルモ表向キノ開業

外務省

S

619219

117

F-0223

0502

(添付紙)

ハ十日頃開催ノ株主總會ニテ決定セラルヘシ尙往電第四六號(二)節
ニ對スル損害賠償ハ開業問題トハ別ニシ支配人來任後之ヲ提起ス
ルコトトナルヘシト言フ

四支那領土内ニ在ル七月十日後ノ被解雇勞農從業員ノ復職願出ハ明
五日ヲ以テ締切ルヘキ旨昨三日管理局長ヨリ布告セリ
支、奉天、上海へ轉電セリ

外
務
省

5.8
S

619219

118

F-0223

0503

歐米局

關機高收第三七二五號三

昭和五年二月二十一日

關東廳警務局長心得

612.77 Tokyo
(2.2.25-5)
招 務 次 官 殿
内 閣 書 記 官 長 殿
外 務 次 官 殿
内 務 省 警 保 局 長 殿
奉 天 哈 爾 濱 各 總 領 事 殿
南 東 軍 參 謀 長 殿
南 東 憲 兵 隊 長 殿
南 東 州 在 勤 海 軍 武 官 殿
滿 鉄 情 報 課 長 殿

在支各事務官殿

露支事件因然説ト白露人ノ大同團結

最近哈府ニ於テ成立セル露支豫備交渉ノ議定書ニ
對シ南京政府カ不滿ノ意アリトノ説傳ハルヤ在哈
白露露人等ハ早クモ露支事件ノ因然ヲ予想シ
テ在滿白露露人ノ大同團結運動ヲ起シ既ニ哈爾濱ニ
極東露帝國國民委員會トモノヲ組織シ運動中
ナルカ其ノ主ナル代表ノ顔面レハ左ノ如シ。

極東露國々民委員會

(一) 名譽代表 エヒースコフ、ネーストル 僧正

(二) 代 表 エヌ、イ、イワノフ (元黑龍省鉅業家)

(三) 軍事部代表 イ、ア、パチエシウイリ 將軍

S

619219

120

S

619219

119

F-0223

0504

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

四 軍事部参謀長 「トウゴニン」 参謀大佐
 五 宣傳部長 「クラブリエトクフエオフアン」 中尉
 (元「スエト」紙編輯長)
 六 經濟部長 「クリンヤイキン」 (在哈借家主)
 七 供給部長 「ラザレフ」
 八 探偵部長 「ノソフエウゲーニーアレクサンドル」
 中尉 (在哈齒科醫師)
 九 同監査委員會
 一〇 代表 「ベズジエーネジヌイフ」 辯護士
 一〇 委員 「ボロジン」 (商人)
 三 人 「スミルノフ」 中尉
 尚右ノ外責任秘書トシテ「ツェトコフ」大佐、全軍
 事顧問トシテ「デミシン」大佐等アリ「デ」大佐

ハ既ニ哈爾濱ヲ棄シテ南下目下南滿ニ在リ
 テ運動中ナリト
 又滿洲里ホクラエーチナヤ等ノ國境ニハ支那軍
 隊附トシテ數名ノ將校活動中ナルカ從來全方
 面ニ於ケル活動支隊長タリシ「ソウエーリエフ」
 少將ハ最近「アルユール」中毒ノ爲メ一般白系露
 人間ニ信用ヲ失フニ至レリト、而シテ本團體
 カ幾何ノ結果ヲ擧グルヤハ相當疑問トセラレ
 ツツアリ。

以上

S

619219

122

S

619219

121

F-0223

0505

第一課
普通第二一二號

昭和五年二月二十八日

在哈爾濱

總領事 八木元

亞細亞局

11



外務大臣男爵幣原喜重郎 殿

白系露人擾亂ニ關スル新聞記事
報告ノ件

7.612.007 M
'612.777 toki'

露文問題發生以來支那當局ハ白系露人ノ策動
擾亂乃至白系武裝隊ノ存在ヲ極力否認シ来レ
ル露正月二十七日附國際協報ハ海拉爾特信トシ
テ果龍江三河地方居住白系露人ノ暴動ニ關シ

左記要旨ノ記事ヲ掲載セリ
記

海拉爾ノ距ル三省文庫ノ三河地方ハ露國革命
以來白系露人ノ避難地ト化シ來住者二千名ニ
及ヒ平和ノ境地ヲ展開シタル又昨冬赤露侵入
以來其ノ压迫ニ堪ヘズ又煽動スルモノアリテ自衛
ヲ唱ヘ獨立ヲ叫ビ官府ノ指揮ヲ受ケス竟ニ壯
者數百名ヲ糾合シ各自銃器ヲ携帶シ特ニ
旅行者ヲ脅迫掠奪ヲ擅ニスルニ至リ又邦人ノ
被害者數十カラス後滿洲里海拉爾地方復旧スル
ニ及ヒ趙呼倫市政籌備處長ハ人ヲ派シ勸告鎮
撫ニ力メタル又何等効果ヲ奏ラサズ今ヤ同地方
大小二十余ヶ村ノ白系露人三十余戸ハ悉ク煩惑



619219

124



619219

123

F-0223

0506

又ラレ支那側ノ統治下ニアルヲ欲スル趙廣長ハ右情
勢カ地方ノ秩序ヲ紊スルヲ不ウス影響スル所ナ
カヲサレテ遂リ梁司令ト打合ヒ軍事方面ニ軍隊
ノ派遣方ヲ電請シ結果尙高ハ騎兵二旅徐團長ニ
出勤ヲ命ジ同團已ニ二十三日牙克石駐ヘ到着セ
ルヲ以テ遠カラズ削減セラルヘシ

別報ニ依レハ右不逞團ハ露支問題解決後ニ解散
ヲ肯セサル為メ支那側ハソノ解ノ要請ニ基キ哈齊
協定履行ノ為メ派兵セラルニ至レルモノナリ云々
尙同紙ハ同欄ニ於テ曩ニ「アバカイ」ト駐在セル
赤軍第七旅百二十六團兵二千余名カ匪賊化シ目
下牙克石附近ニ於テ掠奪ヲ擅ニシ居リ掃蕩ノ
為メ既に第七旅部隊急行セラル旨報道シ居レ

平信寧運補先

在支公使 奉天 上海 吉林 南京
滿洲里

S

619219

126

S

619219

125

F-0223

0507

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

(分類 F.1.9.2.5-4-5)

昭和5 一四八三四

暗

哈爾濱 本省

九日後發 十月十日前着

歐、亞

幣原外務大臣

第二四六號

往電第二四二號ニ關シ

八日夕刻當地勞農機關通信「アングスター」ハ在奉天勞農總領事「ズクメンスキ」カ東北政府ニ手交セル莫斯科通牒ナルモノヲ發表セルカ右ニ依ルニ其ノ内容概略左ノ通

支那政府ハ北京及奉蘇兩協定ニ於テ相互主義ニ基キ自國內ニ於ケル白系露人及同團體徒黨ノ反蘇運動ノ取締並ニ支那官廳ニ勤務スル舊露國人ニシテ同様ノ行動ヲナスモノノ解雇實行方ヲ約シ更ニ哈府協

外務省

S

619219

127

定ニ於テハ右ノ外ニ白系露人團體ノ指導者ノ追放方ヲ約シタルニモ

拘ハラズ今日ニ至ル迄毫モ之ヲ實行シ居ラス殊ニ近來此等白系分子ハ北滿就中東支沿線ニ於テハ極メテ自由ニ反勞農行動ヲ敢テナシツツアリ之ハ兩國ノ善隣關係及極東平和ノ保存ニ對シ脅威トナルモノナルニ鑑ミ莫斯科政府ハ支那官憲カ遲滯ナク白系團體及暴徒ノ解散其ノ指導者ノ逮捕及東三省境外追放其ノ財產沒收並ニ在滿白系新聞紙ノ勞農攻擊停止ニ付最モ斷乎且實際的手段ヲ講セムコトヲ要望ス露、北平、上海、奉天、南京、浦潮ニ轉電シ吉林、長春、滿洲里、齊齊哈爾ニ暗送セリ

外務省

S

619219

128

F-0223

0508

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

大臣 次官
電信課長
亞細亞 通商 條約 情報 文化 人事 會計

寫送先

F. 9. 2. 54-5

昭和5 一四八五三 暗 莫斯科 本 省 九月後發 十月十日後着 歐亞
幣原外務大臣
第五八八號
天羽代理大使

往電第五七八號ニ關シ
十月九日ノ各新聞ニ「ズナメンスキー」ヨリ張學良ニ送リタル十月
七日附蘇聯政府ノ「ノート」カ發表セラレタルカ右ハ北京奉天兩協
定及哈府議定書ノ規定ニ拘ラス近時北滿ニ於テ白黨ノ反蘇活動力頗
ニ公然且熾烈トナリツツアル事實ヲ指摘シタル後支那側ニ對シ白黨
處分ノ爲決定的措置ヲ執リ其ノ武裝ヲ解除シ之ニ解散ヲ命シ支那側
ニ奉職中ノ白黨露人ヲ解職シ白系新聞ノ反蘇宣傳ヲ取締ラムコトヲ

外務省

S 619219 129

要求シ最後ニ蘇聯政府ハ哈府議定書ノ規定ニ從ヒ奉天政府トノ關係
ヲ改善鞏固ナラシムルノ方針ニテ進ム希望ヲ充タサレ奉天政府カ前
記局外勢力ノ爲作ラルル障礙ヲ除去スル爲有ユル措置ヲ講セムコト
ヲ期待スルモノナリト結ヘリ
九日ノ「イスウエスチャ」及「ブラウダ」ハ之ヲ支持シ殊ニ將來哈
府議定書ニ基キテ露支關係ヲ解決スル必要ヲ高調スル論評ヲ掲ケ就
中「ブラウダ」ハ若シ支那側ニ於テ露國側ノ要求ヲ容レサル場合ハ
最モ不幸ナル結果ノ脅威ヲ受クルニ至ルハ昨年ノ事件ニテ承知ノ筈
ナリトノ激烈ナル文句ヲ用ヒ居ルハ蘇側ニ於テ露支會議ニ對スル掛
引ト同時ニ支那側ノ白黨取締ニ對シ相當ノ決心ヲ示サムトスルモノ
ナルヘシ尙右論說ノ内ニ於テ「イスウエスチャ」ハ「東支鐵道ニ於ケ

外務省

S 619219 130

F-0223

0509

ル蘇支關係ノ接近ニ反對スル蘇支以外ノ勢力（暗ニ日、佛ヲ指スモ
ノカ）ハ白黨露人ヲ指駭シ居レリト評シ又「ブラウダ」ハ客年日本
ノ裁判所カ「ボチヤーギン」ニ對シ蘇聯ニ屬スル多額ノ支拂ヲ判決
シ以テ白系露人團體ノ資力ヲ強カラシメタリト述ヘ他方八日本官「カ
ズロフスキー」ト會見ノ折該東支問題ニ及ヒタル際「カ」モ亦北滿白
系露人ハ「ボチヤーギン」ノ金ヲ得テ資本豊富トナレル由ナリト語
レルハ白黨ノ背後ニ於ケル日本ノ態度ニ注意シ居ル證左ト認ムヘキ
カ

哈爾濱ヘ轉電シ前電通轉電若ハ暗送セシム

外務省



619219

131

F-0223

05 10

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

電信寫

秘

昭和5 一四八三四 暗

哈爾濱

本省 十月十日前着

以、聖

幣原外務大臣

八木總領事

第二四六號

往電第二四二號ニ關シ

八日夕刻當地勞農機關通信「アングスタ」ハ在奉天勞農總領事「ズクメンスキー」カ東北政府ニ手交セル莫斯科通牒ナルモノヲ發表セルカ右ニ依ルニ其ノ内容概略左ノ通

支那政府ハ北京及奉蘇兩協定ニ於テ相互主義ニ基キ自國內ニ於ケル白系露人及同團體徒黨ノ反蘇運動ノ取締並ニ支那官廳ニ勤務スル舊露國人ニシテ同様ノ行動ヲナスモノノ解雇實行方ヲ約シ更ニ哈府協

定ニ於テハ右ノ外ニ白系露人團體ノ指導者ノ追放方ヲ約シタルニモ拘ハラズ今日ニ至ル迄毫モ之ヲ實行シ居ラス殊ニ近來此等白系分子ハ北滿就中東支沿線ニ於テハ極メテ自由ニ反勞農行動ヲ敢テナシツツアリ之ハ兩國ノ善隣關係及極東平和ノ保存ニ對シ脅威トナルモノナルニ鑑ミ莫斯科政府ハ支那官廳カ遲滯ナク白系團體及暴徒ノ解散其ノ指導者ノ逮捕及東三省境外追放其ノ財産沒收並ニ在滿白系新聞紙ノ勞農攻撃停止ニ付最モ斷乎且實際的手段ヲ講セムコトヲ要望ス露、北平、上海、奉天、南京、浦潮ニ轉電シ吉林、長春、滿洲里、齊齊哈爾ニ暗送セリ

記録付

奉天總領事官

ハカカ

S

619219

133

S

619219

132

歐米局

(分類 719.2 5-4-5)

秘密公第七九八號

昭和五年十一月二十日

在吉林

總領事 石 村 猪 太

外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿

白采蘇人取締方東北政務委員會ノ發令ニ關スル件
吉林省民政廳長ヨリ省内各縣政府ニ與ヘタル訓令ナリトテ當廳課報
者ノ齊シタル謄寫版刷書面ニ依レハ
一、東北政務委員會ハ哈府協定ノ紀録第四條ニ「支那官憲ハ直チニ白
黨軍隊ノ武装ヲ解除シ其首領及ヒ煽動者ヲ東北諸省内ヨリ驅逐ス
ヘシ」トアルニ基キ客年十二月中吉林省政府ニ對シ白黨ノ取締並

郵政廳

第一課

昭和五年十一月二十日 接受

S

619219

135

(分類 719.2 5-4-5)

(票 合 照)

同様高收 第一五八四

號二

昭和五年十月二十九日

發信者 關東ノ警務局長

受信者 外務次官殿

件名 匪徒ノ解邦總領事ヲテスキノ支那側ニ於テ要求及露支
莫斯科會議ノ内容

原書 ハA6、40、1ノス 蘇聯邦内政干渉難題
白采蘇人ノ政治運動

ニ在リ

記録件名

支那鉄道干渉一件
白采蘇人ノ政治運動

S

619219

134

F-0223

0512

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

ニ最近方ヲ實行スヘキ旨命令スル所アリタルカ
 二最近在蘇莫德憲ヨリ東北政務委員曾ニ請シ「カウハンハ哈府協定紀
 録附屬書類記載ノ白鳥義彦カ未タ完全ニ實行セラレ居ラサルハ支那
 側ニ誠意ナキ證據ナレハ之ヲ正式會議ニ提起スル所存ナリト稱シ居
 ル旨」來電アリ
 三向政務委員會ニ於テハ右ハ對外信用上惡影響ニ付シ難キ事情アリトシ
 前同ノ命令履行方策ネテ當省政府へ早速シタル結果十月二十七日付
 民政廳訓令ヲ以テ省内各縣政府宛轉令スル所アリタリ

右何等御参考迄報告ス
 本署爲送附先 代理公使

南京 北平 奉天 長春 哈爾濱
 齊々哈爾濱 滿洲里 閭島 局子街
 朝鮮總督 關東長官

亞細亞局
 機密公第五四四號

昭和五年十一月二十四日

在長春 領事 田代重徳

歐米局

外務大臣 男爵幣原喜重郎殿

中國官憲ノ白系露人取締ニ關スル件

(分類) F. 1. 2. 5-4-5

最近中國官憲力寛大ナリシ從來ノ在滿白系露人取締ヲ一變シ彼等ニ
 警戒ヲ加フルニ至リ官邊筋勤務露人ニ對シ將來絕對ニ白系運動ニ關
 與スヘカラス若シ之ニ違背關係ヲ有スルモノアラハ嚴重處罰ノ上追
 放ニ處スヘシト嚴達シタル一方白色「バルチザン」隊ノ首領ト目サ
 ルル「スルツキ」中尉「マラチン」少將「セルゲ」エフ」大佐及
 「ベシコフ」「ズイコフ」等ノ逮捕命令ヲ發シ萬一之等白系「バル
 チザン」團員ノ逃亡ヲ助ケ或ハ所在ヲ晦マサシメタルモノハ死刑ニ
 處スヘキ旨ヲ發表シタル爲「バル」團首領等ハ夫々上海方面ニ避難ス
 ヘク準備中ナリトノ聞込アリ右ハ一時停頓説傳ヘラレタル莫斯科會

議カ其後好轉シ愈々中國側全權ニ於テ哈府協定中ロシアノ希望條項
在滿白系露人取締要求ヲ應諾シタル結果ニ非スヤト思料セラレ注意
中ノ處客月三十一日「セルゲイ・エフ」大佐ノ當地通過上海ニ赴キタ
ルモ恐ラク之ニ關連シ避難シタルモノト認メラレ又昨二十三日在極
東白軍將校團哈爾賓支部長「バルジロフスキ」少將哈爾賓特務機
關澤田中佐ノ紹介狀ヲ携ヘ當館ニ上海行通過査證ヲ願出タルカ同人
ノ館員ニ語ル處ニ依レハ吉林省政府ハ哈爾賓警察廳ニ對シ二十二日
同人逮捕命令ヲ發シタルモ同廳ニ於テハ直ニ本人ヲ呼出シ吉林ヨリ
ノ命令ヲ告ケ過去ノ交誼ニ依リ二日ノ猶豫ヲ與フヘキニ付至急特別
區外ニ立退クヘク然レハ其間逮捕命令ノ發表ヲ差控フヘシトノ事ナ
リシヲ以テ將軍モ同廳ノ好意的取計ヲ感謝シ一先哈爾賓ヲ立退クコ
トトシタルモ急ヲ要シ旅費調達ノ暇ナク僅ニ上海迄ノ船車賃ヲ有ス
ルノミナリト尙今回逮捕命令ヲ發シタルハ「バ」將軍一名ニテ他ニ
數名退去ヲ命セラレタルモノアリ曩ニ張宗昌部下ノ露國人居餘員募
集ニ當リタル「ジリニコフ」其外「サヴェーエフ」等モ今明日中ニ

S 619219 138

來長上海ニ避難スヘシト沈痛ナル面持ニテ語リタル趣ナリ

「バ」將軍ハ當館ノ査證ヲ得テ直ニ南下二十五日大連發大連丸ニ乘
船ノ豫定ナリ

右報告ス

本信寫送付先

代理公使 上海 北平 奉天 哈爾賓 齊々哈爾 滿洲里

S 619219 139

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

昭和6

二八七

暗

哈爾濱
本省

九日後發
一月十日前着

歐、亞

幣原外務大臣

八木總領事

第一號

八、當地發行勞農機關紙露英兩文「ゲロリドハルビナ」ノ英文欄記
ハノ勞農機關「アングスタ」通信奉天發電「依レハ」在奉天勞農總領事
ハ客臘三十日大要左ノ如キ莫斯科政府抗議文ヲ東北政府ニ提出セル
由

奉天ハ哈府協定第四條ニ依リ白系露人ノ取締及追放方ヲ約セルニ拘
ハラス當方（勞農側）ノ情報ニ依レハ東支西部線ニ行動中ノ白系「
ルチザン」隊長「ベシコフ」ハ道殺哈爾濱ニ來リテソヘイブン（呼

外務省

S

619219

140

倫貝爾警備司令）ト會見シタルカ其ノ際支那側ハ同隊員ニ對シテハ

金錢及支那旅券ヲ與フルヲ條件トシテ支那黑龍江省軍隊ニ歸屬スヘ

キ提議ヲ爲シタル外右「ベシコフ」ヲ通シ三河地方ニ在ル他ノ諸「バ

ルチザン」ニ對シ同様歸服方交渉中ノ趣ナル處今日遼東北側ノ貢ヘ

ル白黨剿滅ノ義務ニ對スル故意ノ不履行ハ極東ノ平和及蘇支間友好

關係ノ保持ニ重大ナル脅威ヲ及ホスヘキモノナルニ付今般右不履行

ヲ嚴重ニ抗議シ且至急「爾」タル措置ヲ講シ以テ白黨ヲ逮捕處罰追放

方ヲ要求ス云々

右電報ハ未タ當地露文漢文紙等ニハ掲載セラレ居ラス或ハ支那側ニ

於テ掲載ヲ禁止シ居レルモノト思料セラルルニ付不取敢

代理公使、奉天、上海、南京へ轉電シ

外務省

S

619219

141

F-0223

0515

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp



F. 9. 2. 8-4-5

昭和九年十一月二日附機密第二號
公信寫別紙送附ス
在上海總領事 宛

件名 滿洲國皇帝ノ恩赦ニ依リ釋放セラレタル舊露西亞人
名簿送付ノ件

歐亞局

外務大臣

廣田

弘毅

殿

在海拉爾

領事 米

内

山

庸

夫



機密局

機密第二八四號

昭和九年十一月二日

第二紙長

別紙添附

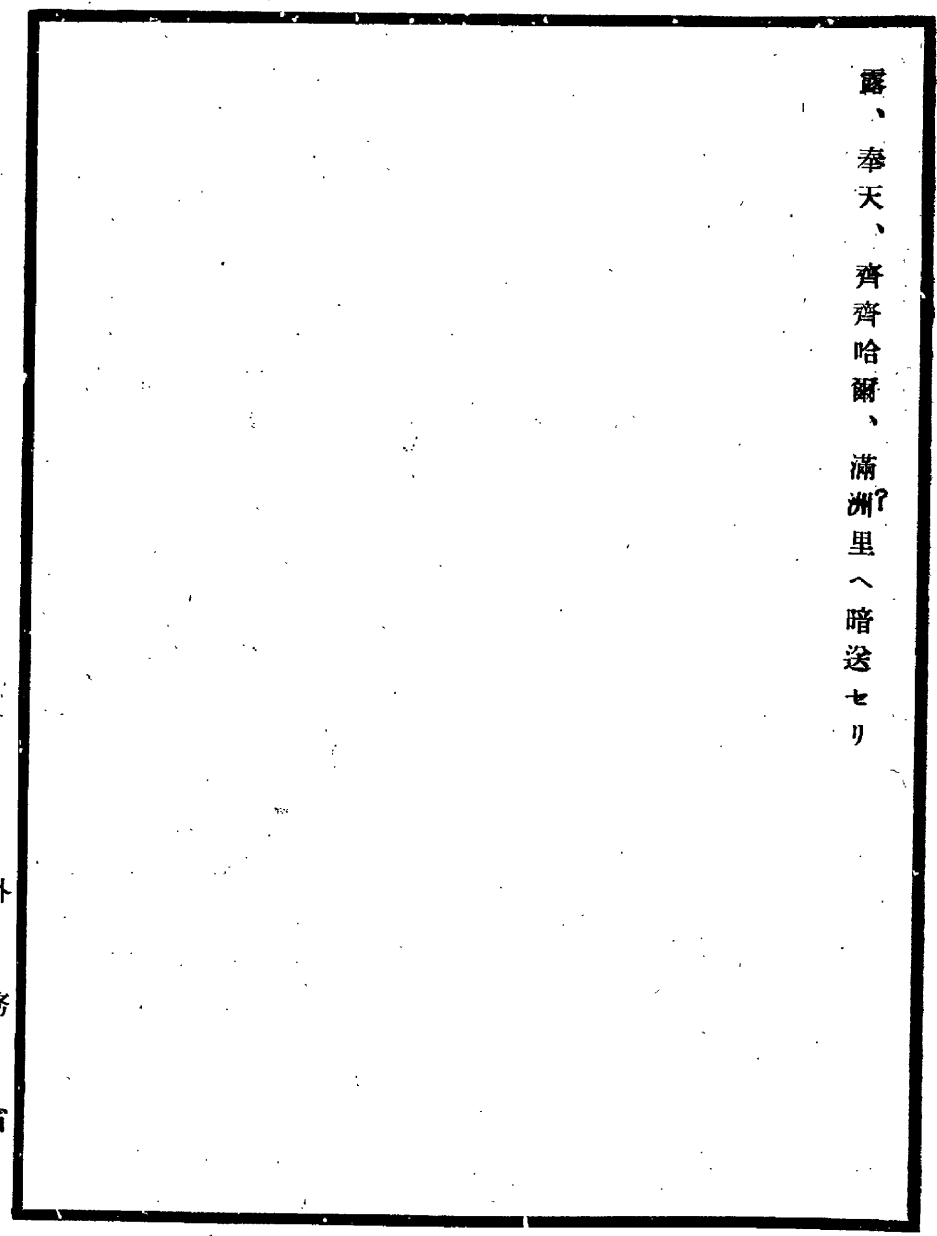
已奉命... (Handwritten notes in a box)



619219

143

外務省



露、奉天、齊齊哈爾、滿洲里へ暗送セリ



619219

142

F-0223

05 16

機密第二號

昭和九年十一月二日

在海拉爾

領事 米内 山庸 夫

在上海

總領事 石射 猪太郎 殿

滿洲國皇帝ノ恩赦ニ依リ釋放セラレタル舊露西亞人
名錄送付ノ件

貴總領事發在滿大使宛公領機密第六九三號ニ關シ當館ニ於テ調査シタル左記ノ通り御參考迄ニ報告ス

記

在海拉爾日本領事館

619219

144

S

目下當館管内在住中ノ恩赦出獄露人ハ主トシテ一九二九年前後蘇支紛

爭當時三河地方ニ於テ赤軍ノ爲白系露人カ大虐殺セラレタル爲憤起セ

ル白色バルチザン「パンコフ」及「ズイコーフ」等ノ輩下ニシテ蘇支

國交回復後蘇聯側ノ要求ニヨリテ逮捕投獄サレ死刑無期又ハ懲役七年

位ノ判決ヲ受ケン者等ナルカ今同皇軍帝御即位ニ際シ在哈特務機關ヲ

始メ日本軍部要路者ノ幹施ニ依リ出獄スルニ至レリ出獄後ハ何レモ蒙

古奧地方ニタルバカン獵ニ出稼キシ或ハ家業ニ精勵シ比較的良好ナリ

但シ以上ハ政治犯ノミ

然ルニ刑事犯人等ハ三名ノ出獄者アリタル中二名ハ既ニ再ヒ在監中ニ

テ他ノ一名ハ哈爾濱方面ニ委ヲ晦マシ所在不明ナリ

在海拉爾日本領事館

619219

145

S

F-0223

0518

本信寫送付先 外務大臣 在滿大使

在海拉爾日本領事館

S

619219

147

出獄名簿				氏名
年齢	職業	住居	摘要	
三〇	獵師	海拉爾東三道街	白色バルチザンズイコフ	ボルトニヤギン ニキーフオル
三八	全右	海拉爾夾信子	同右	ウオロキーチン ワシーリ
三七	全右	全右	全右	シエロメンツエフ イワーン
一八	農	三河	白色バルチザンベーシコ フ輩下	パールイシエフ ゲオールギー
二二	全	全右	全右	カンチミールロフ フヨードル
二八	全	全右	全右	ウオロキーチン パウエル
二六	全	全右	全右	シエスタコーフ ニコライ
二六	日雇労働	海拉爾ウオロンツォフ	全右	ブルジンスキー イワ
二五	無	不明	本名ハ馬泥棒長ナリ	ビヤトコーフ イワ

在海拉爾日本領事館

S

619219

146

F-0223

0519

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>